保証とアフターサービス よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは
■まず、お買い上げ先へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　　）　　－
お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは
「よくあるご質問」「故障かな?」【P.23～25】で
ご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、
お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　　温水洗浄便座
●品　番
●故障の状況　できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**　保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

＊修理料金は次の内容で構成されています。
- 技術料　**診断・修理・調整・点検などの費用**
- 部品代　**部品および補助材料代**
- 出張料　**技術者を派遣する費用**

＊補修用性能部品の保有期間　6年
当社は、この温水洗浄便座の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

- **転居や贈答品などでお困りの場合は、ご相談窓口にご連絡ください。**

修理のご用命は

修理ご相談窓口　※インターネットでのご依頼も可能です。　https://panasonic.jp/support/repair.html

【受付時間】9:00～18:00（一部地域を除く）

フリーダイヤル 0120-878-554

●左記番号がご利用いただけない場合は…03-6633-6700

商品のお問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/

【受付時間】365 日 / 9:00～18:00

フリーダイヤル
個人のお客様 0120-878-093　●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6780-5779
法人のお客様 0120-187-150　●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6904-7270
●FAX…0120-872-460

※携帯電話からもご利用になれます。

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
・ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
・営業時間などの最新情報はWebをご確認ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　**長年ご使用の温水洗浄便座の点検を！**

こんな症状はありませんか？
- ●水漏れする。(配管接続部、本体内部)
- ●本体や便座にひびや割れが入っている。
- ●異常な音やこげ臭いにおいがする。
- ●本体や操作部が異常に熱い。
- ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ●電源プラグや電源コードが異常に熱い。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ **ご使用中止**　事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜き止水栓を閉めて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

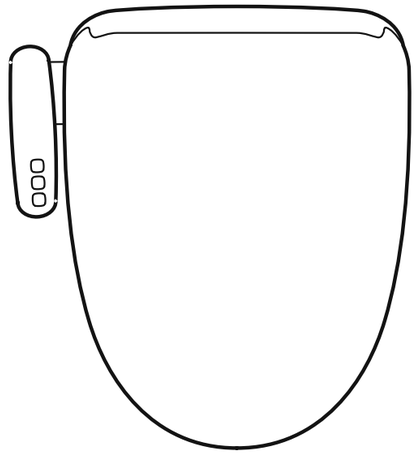
パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2026

Panasonic

取扱説明書

温水洗浄便座 家庭用　ビューティ・トワレ

品番 CH962S
CH961S



1 確認と準備
安全上のご注意 …… 2
各部の名前 …… 6
ご使用前の確認 …… 8

2 使いかた
脱臭（CH962S のみ） …… 9
トイレを使う／洗浄する …… 10
調節する …… 12
節電したい
- 節電（便座温度）（温水温度） …… 13
- 8 時間切（便座温度）（温水温度） …… 13

3 お手入れ
お手入れ
- 本体表面／便ふた／本体裏面 …… 14
- ノズル …… 16
- 脱臭用フィルター／ノズル除菌クリーニング …… 17

4 必要なとき
凍結予防のしかた／再び使用するときは … 18
長期間使用しないときは／再び使用するときは … 20
定期点検 …… 22
よくあるご質問 …… 23
故障かな？ …… 24
仕様 …… 26
安全にお使いいただくために …… 27
一般社団法人
日本レストルーム工業会からのお知らせ … 27
保証とアフターサービス …… 裏表紙

保証書・施工説明書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（P.2～5）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、施工説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書のイラストはCH962Sで説明しています。
- 一般家庭用以外（例えば業務用）でご使用された場合は保証対象外となります。また、使用回数の多い場所に設置された場合は、ノズルユニットなどの部品を定期的に交換してください。（有料修理となります）

ADL943PZZWCO
CS1225-0

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

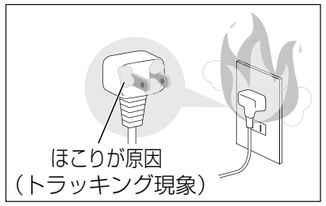


誤った使い方をしたり、注意やお手入れを怠ることで…

こんな事故が起きています



●便座の暖房による低温やけど



●電源プラグからの発火

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

電源プラグやコードは誤った使いかたをしない

⃠（火災、感電のおそれあり）

- 電源プラグ、コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



→ 電源プラグ、コードの点検・修理は販売店へ依頼してください。

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100 V以外で使用しない

電源プラグやコードは正しく使う

❗（火災、感電のおそれあり）

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く



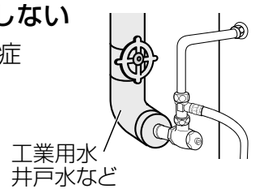
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

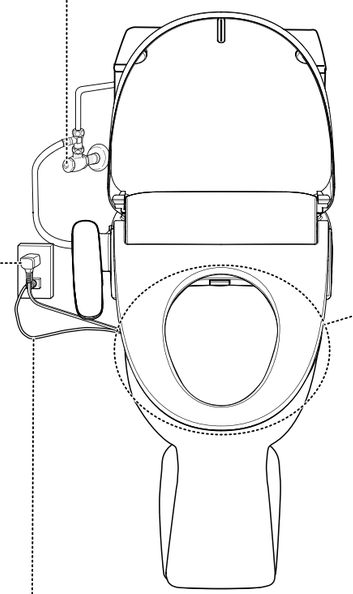
⃠
- 本体、本体裏面や電源プラグに水や洗剤などをかけない（感電やショートして火災の原因）



上水道以外には接続しない

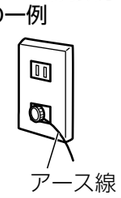
⃠（ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因）
（腐食や異物付着による水漏れの原因）





アース工事を確認する

❗（アース工事がされていないとピリピリしたり漏電のときに感電する原因）
→アース工事を販売店にご依頼ください。
（アース工事費は、本体価格に含まれていません）



バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない

⃠（火災や感電の原因）



ご使用のときや、お手入れ、点検のときにたばこなど火気類を近づけない

⃠（火災のおそれあり）

改造はしない
また修理技術者以外の人が、分解したり修理をしない

⃠(感電や発火したり、異常作動してけがの原因)
→修理は販売店にご相談ください。



次のような方が使用するときは、便座の温度調節を「低」または「切」にする

❗お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、皮膚感覚が弱い方、自分で温度調節できない方、眠気を誘う薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方、深酒、疲労の激しい方

（長時間、皮膚の同じ場所が便座に触れると、低温やけどの原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉める

❗（発煙・発火、感電のおそれあり）

異常・故障例
- 本体や便座にひびや割れが入っている
- 便座や温水が熱かったり、冷たかったりする
- 異常な音やこげ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い
- 本体や操作部が異常に熱い

→すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師に相談する

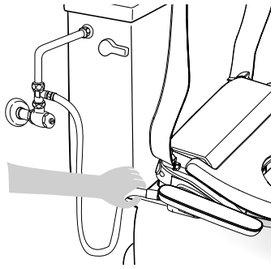
❗（身体への著しい障害をまねくおそれあり）

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠注意

本体脱着時などに給水ホースに力を加えない

（分岐金具のナットや本体接続側のクイックファスナーがゆるんで水漏れの原因）



給水ホースを折り曲げたりつぶしたりして使用しない

（給水ホースに亀裂が入り水漏れの原因）

水道水フィルター（水抜き栓）を外すときは、必ず止水栓を閉める

（止水栓を閉めないと、水漏れの原因）

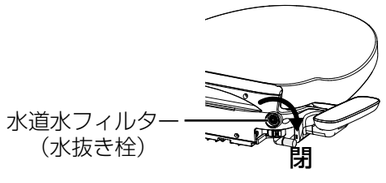
凍結予防をする【P.18】

（凍結すると、配管や本体内部が破損して水漏れの原因）

→水抜きなど、凍結予防をする。

いったん、外した水道水フィルター（水抜き栓）はしっかり閉める

（しっかり閉めないと、水漏れの原因）



開口部などから針金など金属を入れない

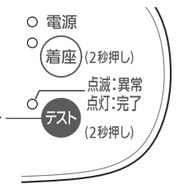
（感電の原因）

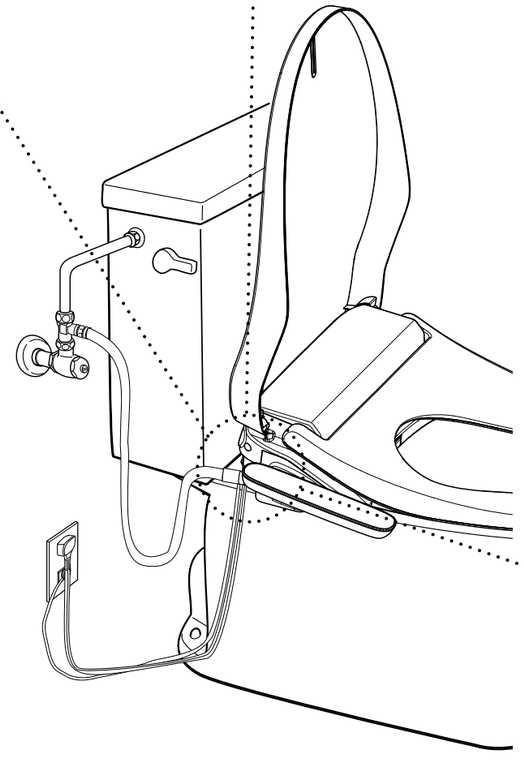


漏電検知の作動を確認する【P.22】

（故障のまま使用すると、漏電のときに感電する原因）

→故障の場合は販売店にご相談ください。





便ふたに寄りかからない

（便ふたが割れて転倒したり、けがをする原因）



便ふたの上に乗ったり衝撃を加えたりしない

（転倒したり、割れてけがをする原因）



本体操作部に乗らない、手をついて座ったり、立ち上がったりしない

（転倒したり、けがをする原因）



本体ががたついたまま使用しない

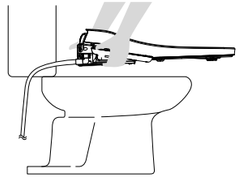
（転倒したり、割れてけがをする原因）

便座を勢いよく閉めない

（破損によりけがをする原因）

持ち運ぶときは、必ず本体を持つ

（便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因）



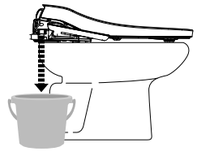
便ふた・便座開閉時に、指などをはさまないよう注意する

（はさまれると、けがをする原因）

長期間使用しないときは本体の水を抜く【P.20】

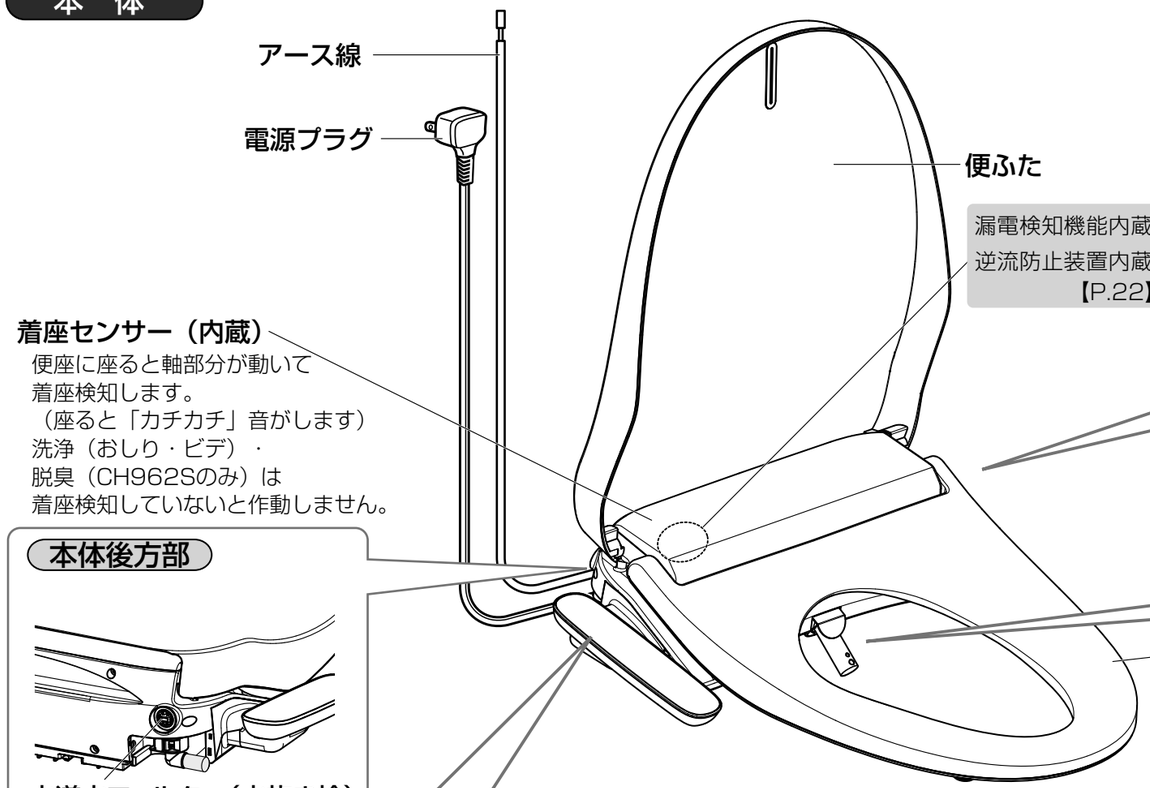
（水が腐敗して皮膚の炎症などの原因）

→電源プラグを抜いてから水を抜く。



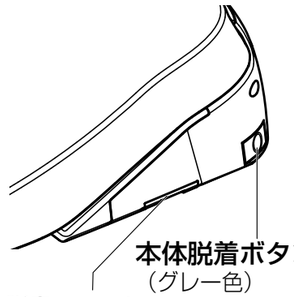
各部の名前

本　体

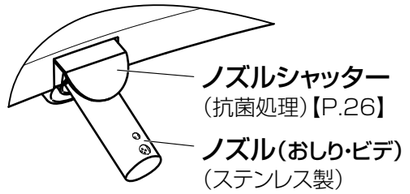


本体後方部

右側面部

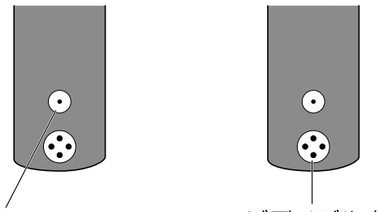


ノズル周辺部



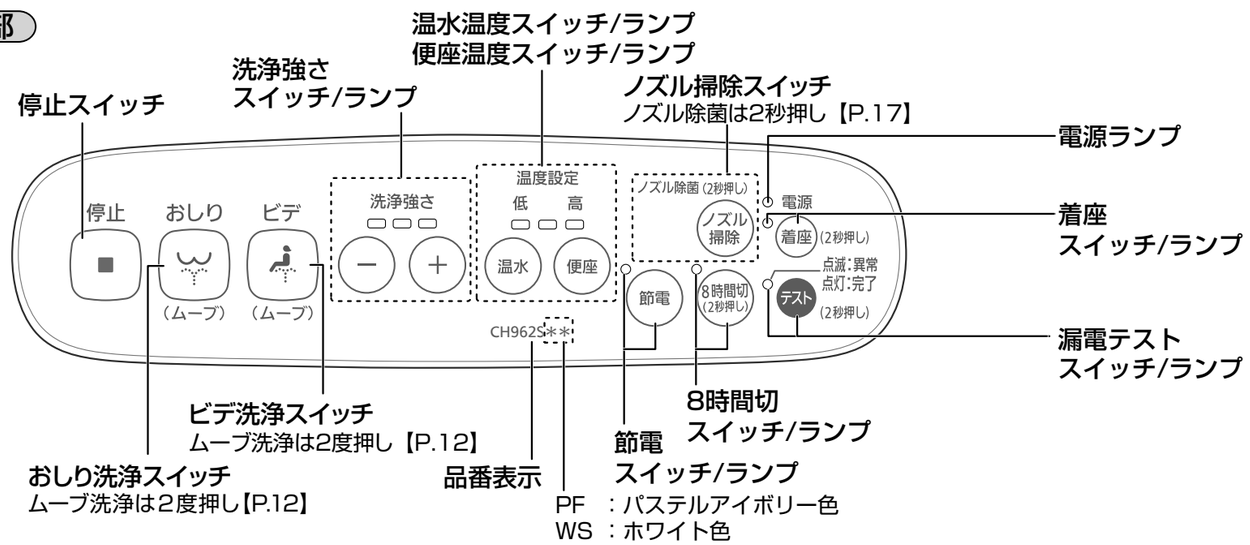
〈ノズルの構造〉

おしりとビデそれぞれ専用の水路から洗浄水を出します。



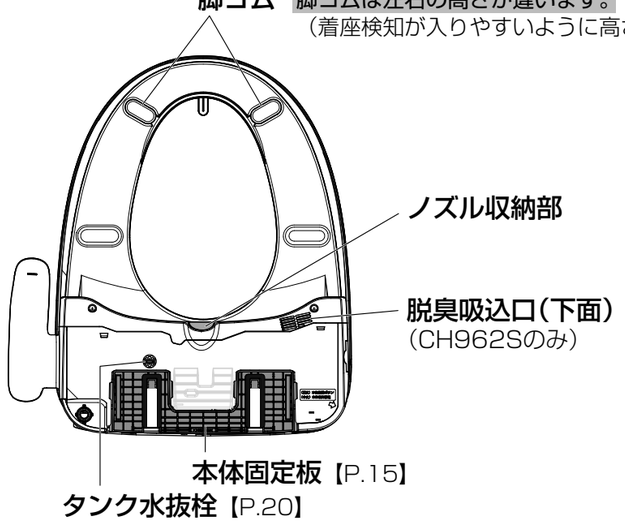
■ イラストのノズルは説明のために、引き出した状態で表しています。

本体操作部



お知らせ ● 温度設定ランプは、通常消灯しています。（温水）、（便座）を押すとランプが点灯します。

本体の裏面部

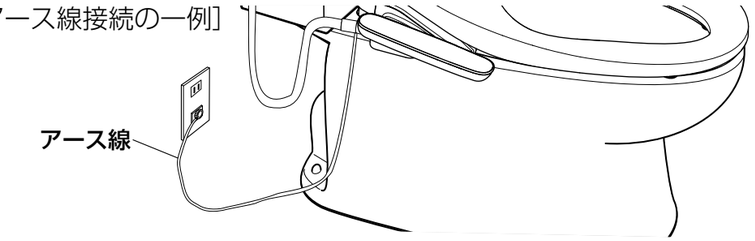


ご使用前の確認

アース線が接続されていることを確認する

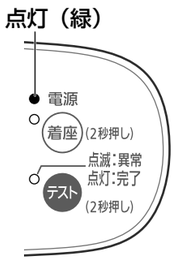
アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電する原因となります。【P.2】

［アース線接続の一例］



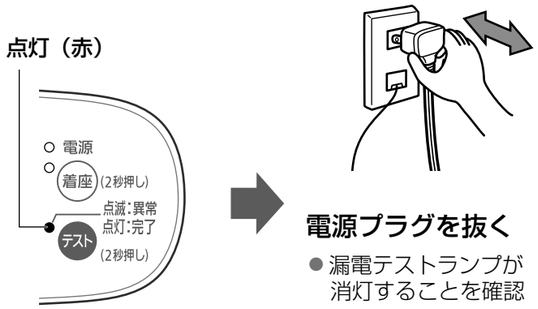
電源ランプの点灯（緑）を確認する

■本体の電源ランプが点灯している場合は正常です



使えます

〈本体の電源ランプが点灯していない場合〉(本体側面の漏電テストランプが点灯)



電源プラグを抜く

- 漏電テストランプが消灯することを確認

再度電源プラグを差し込む



使えます

お知らせ

- 漏電テストスイッチを2秒以上押すと漏電テストランプが点灯します。【P.22】
- 電源プラグを差し直しても電源ランプが点灯しないときや、漏電テストランプが点滅する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

脱臭（CH962Sのみ）

便座に座ると、着座検知し、脱臭が自動的に始まります。（作動音がします）

- 立ち上がると、約1分後に脱臭が停止します。

途中で停止したいときや立ち上がったあと、すぐに停止したいとき

停止 ■ **押す**

洗浄中は、脱臭を停止することができません。

脱臭を作動させないようにするには

8時間切(2秒押し) を押しながら ー を2秒以上押す

電源 2回点滅

- 電源ランプが2回点滅します。

■元に戻したい場合

再度 8時間切(2秒押し) を押しながら ー を2秒以上押す

電源 1回点滅

- 電源ランプが1回点滅します。

お知らせ

- 飲食物による強臭便（にんにく臭など）のときは十分に脱臭できないことがあります。

トイレを使う／洗浄する

ご使用方法

- おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- おしり・ビデとも洗浄時間は10秒～20秒を目安に使用ください。

入　る

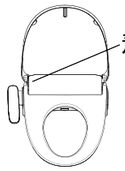


1 便ふたを手で開く

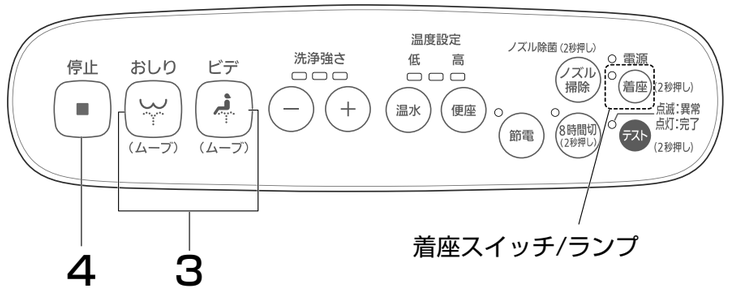
手でゆっくりふたを開く。



使　う







2 座る

自動で脱臭が始まります。
（作動音がします）
（CH962Sのみ）
【P.9】

- 着座検知すると着座ランプが点灯します。

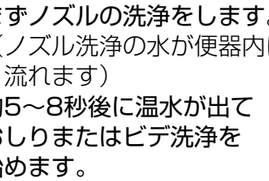


ランプ点灯

ランプが点灯しない場合は、中央部に座り直してください。
（詳しくはP.23参照）

3 洗浄する

おしり洗浄　**ビデ洗浄**

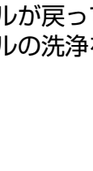


スイッチを押すと、
まずノズルの洗浄をします。
（ノズル洗浄の水が便器内に流れます）
約5～8秒後に温水が出ておしりまたはビデ洗浄を始めます。



ランプ点灯

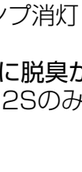
4 洗浄を止める



洗浄を停止します。
ノズルが戻ってからノズルの洗浄をします。

立ち上がると自動で次の動作をします。

- 着座ランプが消灯します。



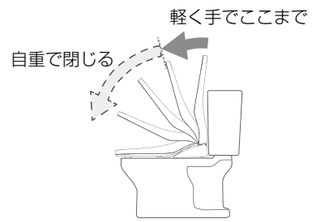
ランプ消灯

- 約1分後に脱臭が停止します。
（CH962Sのみ）

出　る



5 便ふたを手で閉じる



ご注意

- 閉じるときは、途中からは便ふたの自重でゆっくり閉じてください。

お願い

- 最初、程よい温度でも便座に長く座っていると熱く感じるようになり、低温やけどのおそれがあります。便座温度は低めに設定してください。【P.12】
- 便座に座っているときに、便ふたにもたれかかり大きな力を掛けないようにしてください。

お知らせ

洗浄スイッチを押しても着座ランプが点滅し洗浄できないときは、中央部に座り直してください。座り直しても着座検知しないときは、本体操作部の着座スイッチを押してください。【P.23】

- 着座スイッチを押して、おしり、ビデ洗浄をすると、約1分間連続運転後、自動的に停止します。
- 脱臭(CH962Sのみ)は洗浄開始時に始まります。洗浄停止約１分30秒後に停止します。

お知らせ

- ノズルが出るとき作動音がしますが異常ではありません。
- おしり、ビデ洗浄スイッチを押してから洗浄水が出るまで少し時間がかかります。
- 本体の温水タンク容量は約0.47 Lです。洗浄強さ「中」で、約45秒使うと冷たくなります。洗浄を止め、約5～7分待つとお湯になります。（水温によって異なります）
- 洗浄中、ノズル周辺部から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。
- 洗浄停止後、約７～８分間はノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水があたたまったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。
- 安全のために、洗浄は約2分間連続使用すると、自動的に停止します。

男性立ち小用時

使　う

便ふた・便座を手で開く。



出　る

便座・便ふたを手で閉じる。



ご注意

- ●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、局部内は洗わないでください。
  ＊常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- ●習慣的に便意を促すためには使用しないでください。
  また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- ●局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- ●局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

調節する

洗浄の強さを変えたいとき
洗浄強さ

おしり、ビデの洗浄中に

(－)または(＋)を押すごとに、
強さが変わります。

- 前回の設定強さを記憶しています。
（記憶させない設定→P.23）

〔お買い上げ時は「中」〕

洗浄水の温度を変えたいとき
温水温度

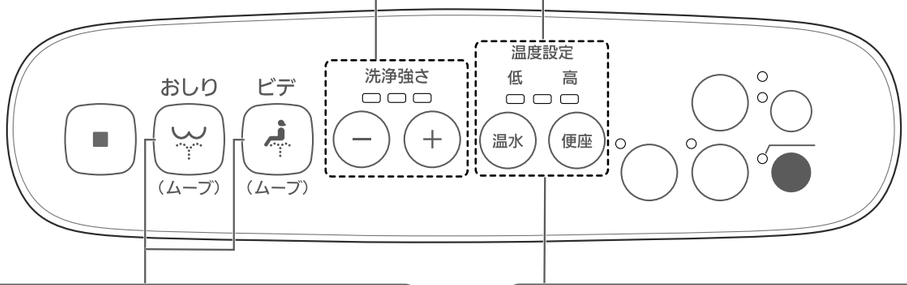
(温水)を押すごとに切り換わります。

温度表示（ランプ点灯）

低 高→低 高→低 高→低 高

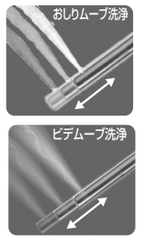
「切」	「低」	「中」	「高」
水温	約37 ℃	約38.5 ℃	約40 ℃

〔お買い上げ時は「切」〕



広範囲の洗浄に
ムーブ洗浄

おしり ビデ
(おしり)または(ビデ)を
2度押すと、ノズルが前後に
動き、広範囲を洗浄します。



便座の温度を変えたいとき
便座温度

(便座)を押すごとに切り換わります。

温度表示（ランプ点灯）

低 高→低 高→低 高→低 高

「切」	「低」	「中」	「高」
室温	約29 ℃	約33 ℃	約37 ℃
	(約29 ℃)	(約30 ℃)	(約33 ℃)

（　）内は着座していないときの温度です。

- 座り始めはぬるく感じることがあります。

〔お買い上げ時は「切」〕

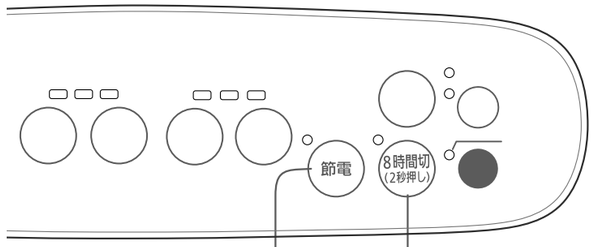
お知らせ

- 温度設定ランプは、通常消灯しています。(操作後、約30秒後に消灯します)
(温水)、(便座)を押すとランプが点灯します。

お願い

- 水圧の低いところでは、洗浄強さを弱くすると水が出ない場合があります。
この場合、洗浄強さを強くしてご使用ください。

節電したい



年間消費電力量
8時間切設定無し　194 kWh/年
8時間切設定有り　141 kWh/年
省エネ法（2012年度基準）に基づく
【P.26】

節電（便座温度）（温水温度）

7日間の1時間単位で使用の有無を学習し、
使用のなかった時間帯の便座、温水の
保温温度を下げます。

(節電)を押す　●節電ランプが点灯します。

- 使用しない期間が継続すると、段階的に温度を下げ、連続3週間着座しない場合、最大約15℃まで保温温度が下がります。
＊設定した最初の14日間は使用パターンを学習するため、便座、温水の保温温度は下がりません。

温度が下がった時間帯に着座すると…

- 着座した時間帯を学習し、翌週の同じ時間帯の便座、温水の温度を上げます。
- 温度が下がった時間帯に着座すると、最初は冷たく感じる場合がありますが、約1～2分で温かくなってきます。

〈節電をやめたいとき〉

再度、(節電)を押すと解除されます。

- 節電ランプが消灯します。
- 便座、温水温度は設定温度に自動的に戻ります。（設定温度に戻るまでに約3～5分かかります）

8時間切（便座温度）（温水温度）

便座ヒーターと温水ヒーターへの通電を8時間停止します。8時間停止後は、前に設定された便座温度ランプ、温水温度ランプが点灯します。
＊ 節電中にも設定ができます。

(8時間切 (2秒押し))を約2秒以上押すと設定され、
便座と温水への通電を8時間停止します。

- 8時間切ランプが点灯します。
- 8時間後に便座・温水が通電状態に戻り、ランプが消灯します。

8時間切設定中に着座すると…

便座温度：着座と同時に通電します。あたたまるまでに約10～12分かかります。
（室温によって異なります）
温水温度：着座と同時に通電します。あたたまるまでに約5～7分かかります。
（水温によって異なります）

- 使用後、便座から立ち上がると8時間切設定に戻ります。

〈8時間切をやめたいとき〉

再度、(8時間切 (2秒押し))を2秒以上押すと解除されます。

- 8時間切ランプが消灯します。

お知らせ

- 電源プラグを抜いたときや停電のとき、または漏電テストスイッチを押したときは「節電」「8時間切」の設定が取り消されます。また、「節電」は、過去の使用有無の記憶も取り消されます。

お手入れ （本体表面／便ふた／本体裏面）



**日常のお手入れは
さっとひと拭き**

汚れがついたら…

柔らかい布で水拭き

- 水をかけて洗わない。（故障の原因）
- 乾いた布やトイレットペーパーで拭かない。（傷の原因）

ひどい汚れは…

**家庭用中性洗剤(例：食器洗い用)を
うすめてお使いください
拭き取ったあとは、最後に水拭きし、
自然乾燥してください**

⚠警告

■ **本体、本体裏面や電源プラグ
に水や洗剤などをかけない**
（感電やショートして火災の原因）

下記の洗剤は、本体内の金属部分などを腐食させたり、本体や便座などを傷めますので使用しないでください。



酸・アルカリ性・塩素系洗剤　研磨剤入り洗剤　ベンジン シンナー　業務用洗剤

除菌シート、化学ぞうきんなどをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

お願い

- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内で洗い流し、本体に洗剤がかからないようにしてください。掃除中は、便ふた・便座は開けたままにしておいてください。揮発性ガスにより本体を傷める原因となります。
- お手入れの際は、着座スイッチを押さないでください。(予期しないときに、洗浄水が出る原因)

本体表面

お手入れをする場合は、
以下の手順に従ってください。

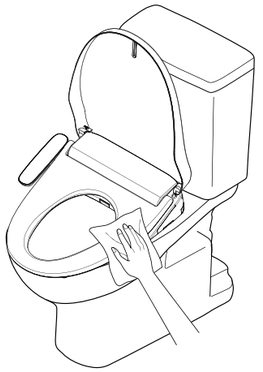
1.電源プラグをコンセントから抜く

2.本体表面の汚れを拭き取る

3.電源プラグをコンセントに差し込む

お知らせ

本体や便座などに尿が付着したまま放置すると、ピンク、茶色等のしみになることがあります。



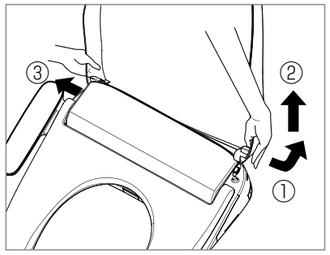
便ふた

便ふたを外してお手入れができます。

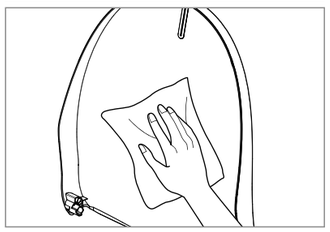
1.電源プラグをコンセントから抜く

2.便ふたを取り外す

便ふたを開いた状態にし、
①便ふたの右側を外れるまで強く広げて軸から外し、少し後方へずらす
②引き上げる
③本体から便ふたを外す
＊指を挟まないように注意してください。



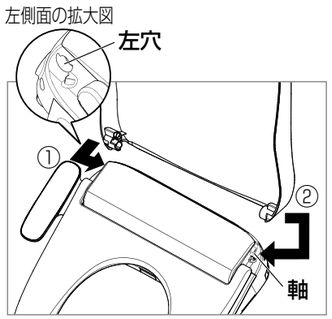
3.便ふたの汚れを拭き取る



4.便ふたを取り付ける

①本体の左穴に便ふたを差し込む
②本体右軸に便ふたを広げながら入れる
③便ふたを持って開閉がスムーズか確認する
（正しく取り付けないと便ふたが外れることがあります）

左側面の拡大図



5.電源プラグをコンセントに差し込む

本体裏面

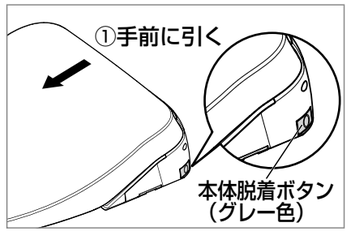
本体を外してお手入れをする場合は、以下の手順に従ってください。

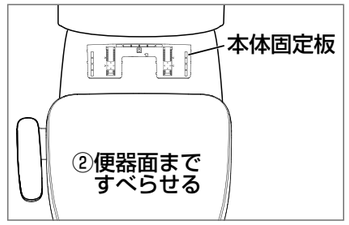
1.電源プラグをコンセントから抜く

2.止水栓を全閉にし、給水を止める【P.18】

3.本体を取り外す

①本体脱着ボタンを押したまま本体を手前に引く
（本体を上に持ち上げないこと）
②そのまま本体を便器面まですべらせる
- 給水ホースなどがありますので無理に引っ張らないでください。



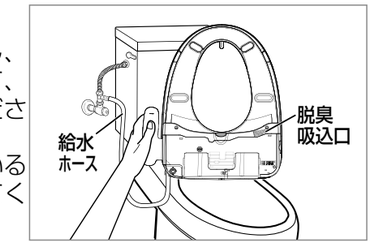


4.本体でかくれた便器部分などを拭き取る

水でぬらした柔らかい布を十分にしぼって拭いてください。

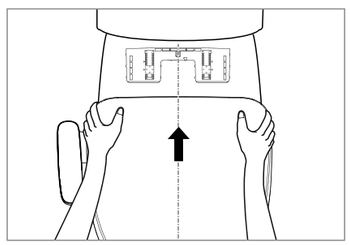
5.本体裏面を掃除する

- 本体を便器の上に立てた状態にし、便座が倒れないように手で支えて、本体裏面の汚れを拭き取ってください。水はかけないでください。
- 脱臭吸込口にほこりがたまっている場合は、掃除機などで吸い取ってください。（CH962Sのみ）



6.本体を取り付ける

①本体固定板の中心と本体の中心を合わせる
②本体を両手で軽く便器面に押し付けながら矢印方向に本体をすべらせ「カチッ」と音がするまで押し込む
- 電源コードをはさみ込まないようにしてください。
- 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。



7.止水栓を開け、給水する【P.19】

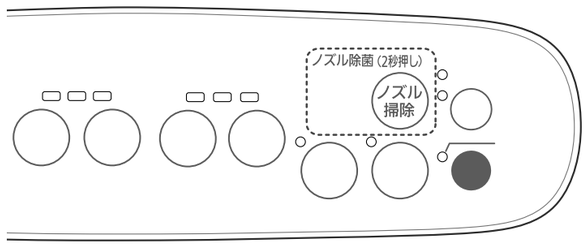
8.電源プラグをコンセントに差し込む

お願い

- 本体を手前に引くとき〈手順3〉や立てるとき〈手順5〉は、給水ホースなどに無理な力を加えないように注意してください。
- 本体を裏向けに寝かさないでください。（傷の原因）

お手入れ（ノズル／脱臭用フィルター／ノズル除菌クリ　ーニング）

●お手入れの際は、着座スイッチを押さないでください。
(予期しないときに、洗浄水が出る原因)



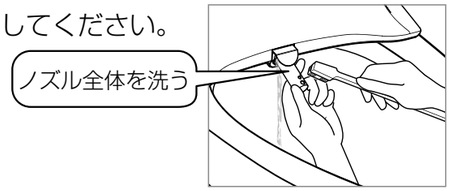
ノズル（週1回）

ゴム手袋を着用し、歯ブラシなどでノズルをお手入れしてください。

1 便ふた・便座を開く

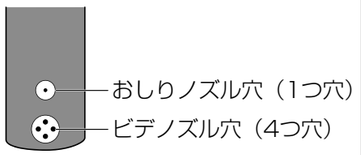
2 (ノズル掃除) を押す

●ノズルが出る。



3 ノズルを軽く手で持ち、歯ブラシなどで洗う

●おしり、ビデノズル穴を洗う。（ノズル全体も洗う）



〈掃除を終わるとき〉

4 再度 (ノズル掃除) または (停止 ■) を押す

●ノズルが戻る。

お願い
- トイレットペーパーやトイレ用掃除シートでノズルを掃除しないでください。
(ペーパーなどの異物が詰り、ノズル故障の原因)
- ノズル掃除の操作はスイッチを2秒以上押さないでください。
2秒以上押すと、「ノズル除菌クリーニング」となり、ノズルは出てきません。【P.17】
- ノズルのお手入れ時にノズルに無理な力を加えないでください。
- ノズルを無理に手で引っ張ったり、押したりしないでください。（故障の原因）

お知らせ
- ノズルお手入れ中はノズル周辺部から洗浄水が出ます。
- お手入れのとき、ノズルを出した状態でそのまま放置すると約3分後にノズルが戻ります。
- 便座を閉じた状態で便座を押さえると、着座ランプが点灯し、脱臭（CH962Sのみ）が始まります。
その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ますのでご注意ください。

脱臭用フィルター（月1回）　（CH962Sのみ）

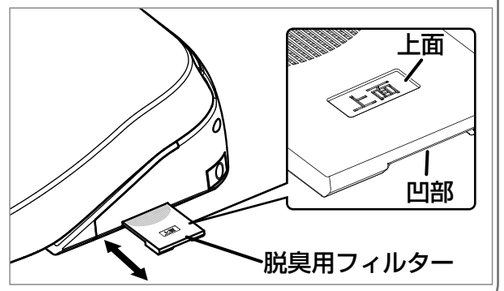
ほこりなどがつまると、脱臭効果が悪くなります。

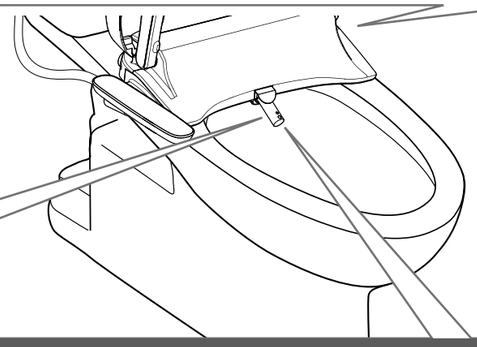
1 脱臭用フィルターの凹部に指を引っ掛けて取り外す

2 乾いた歯ブラシなどで、ほこりを取り除くまたは水洗いをする

●水洗いをした場合は、よく乾かしてください。

3 脱臭用フィルターの 上面 を上にして、元どおりに差し込む





ノズル除菌クリーニング ※1（ノズルの汚れが気になるときに）

洗浄水を流しながら約1分間洗浄します。

本体操作部の (ノズル除菌（2秒押し） ノズル掃除) を2秒以上押す

↓

ノズルを洗浄（ノズルは収納したまま）

約1分間で終了

■途中で止めたいときは…

(停止 ■) を押す

お知らせ
- ご使用のたびにノズルを洗浄していますので、頻繁にノズル除菌クリーニングをする必要はありません。週1回を目安に使用してください。
- ノズル除菌クリーニングを行うと、温水タンク内のお湯がなくなります。
次回、洗浄時にお湯が出るまで約5～7分かかります。(水温によって異なります)

※1ノズル除菌クリーニングの除菌部分と試験結果

ノズル穴の近傍

- 試験機関…(一財)日本食品分析センター
- 試験方法…熱抵抗性試験法
- 除菌方法…流水による洗浄
- 試験結果…1分間洗浄後99 %以上抑制
上記試験は2種類のみの菌で実施

〈洗浄水の温度が5 ℃のとき〉
- 試験成績書発行年月日…2022年5月13日
- 試験成績書発行番号…第22029880001-0201号

〈洗浄水の温度が40 ℃のとき〉
- 試験成績書発行年月日…2020年5月20日
- 試験成績書発行番号…第20041586001-0201号

- 上記試験は洗浄水の温度が5 ℃と40 ℃のときの試験結果です。

凍結予防のしかた／再び使用すると きは

凍結予防のしかた

■ 寒い地域で本体内の水が凍結するときは凍結予防をしてください

1 電源プラグを コンセントから抜く

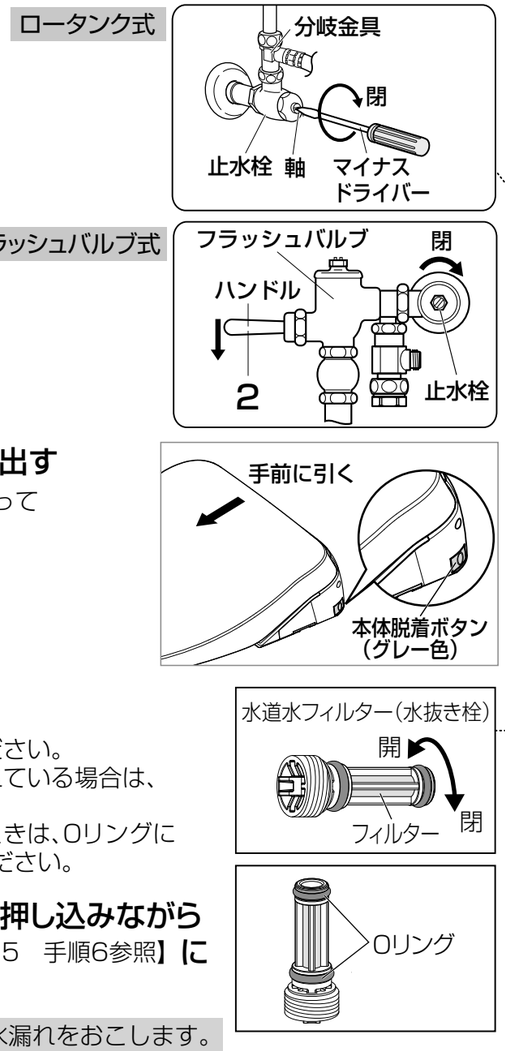
2 ロータンク式

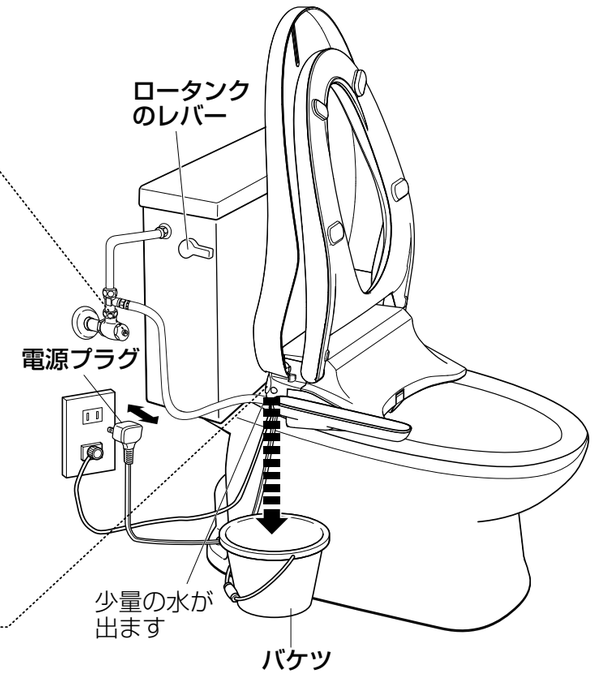
止水栓を全閉にし 給水を止め、
ロータンクの レバーを回す

- ロータンク内の水を流しきってください。

フラッシュバルブ式

止水栓を全閉にし 給水を止め、
ハンドルを押す





3 本体固定板が見える位置まで本体を引き出す

- 本体脱着ボタンを押したまま、本体の両側部を持って手前に引いてください。

4 バケツなどで受けて
水道水フィルター（水抜き栓）を
マイナスドライバーでゆるめて取り外す

- 本体内の水が出ますので雑巾などで押さえてください。
- 水道水フィルター（水抜き栓）のフィルターが汚れている場合は、歯ブラシなどでお手入れしてください。
- 取り外した水道水フィルター（水抜き栓）を置くときは、Oリングにゴミ等が付着しないよう、つまみ部を下にしてください。

5 水抜き後、水道水フィルター（水抜き栓）を押し込みながら元どおりに取り付け、本体を元の位置【P.15　手順6参照】に戻す

水道水フィルター（水抜き栓）を確実に閉めないと水漏れをおこします。

お知らせ　●P.20のタンク内の水を抜く必要はありません。

6 電源プラグを コンセントに差し込む

- 節電・８時間切設定はしないでください。【P.13】
- 保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておいてください。

7 温水 と 便座 の設定温度を「高」にする【P.12】

再び使用するときは

■ 室温が０℃未満では本体内の残水が凍結している場合があり使用できません。
室温が上がってから以下の手順で使用できることを確認してください。

1 止水栓を開き給水する

ロータンク式

フラッシュバルブ式

2 着座して
おしり または ビデ を押し
洗浄することを確認する

長期間使用しないときは／再び使用 するとき

長期間使用しないときは

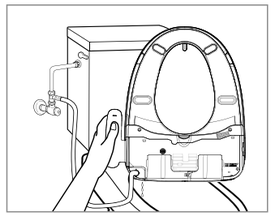
■ 次のようなときは水抜きをしてください

- 1週間以上使用しないとき
  （水が腐敗して皮膚の炎症などの原因）
- 移設など本体を移動するとき
  （本体から水が漏れたり、故障の原因）

＊ 別荘など長期間使用しないときは必ず行ってください。

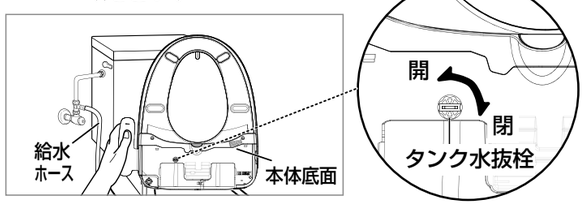
1 【P.18】の手順1～4を行う

2 本体を便器の上に立て
本体内の水を抜く



3 本体底面にあるタンク水抜栓をマイナスドライバーで「開」側に回して外し、本体底面を下に向け、傾けながら排水（水抜き）する

- タンク水抜栓を落とさないように注意してください。

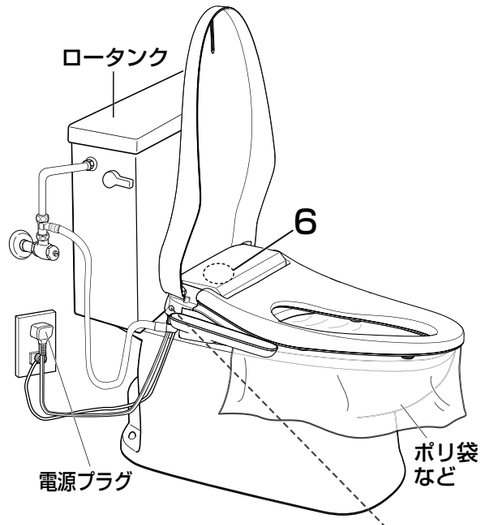


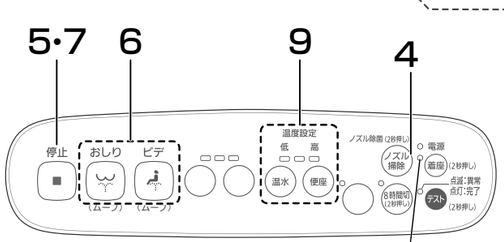
お願い　便器内に水が流れるよう排水してください。

4 水抜き後、タンク水抜栓と、水道水フィルター（水抜き栓）を元のように取り付け、本体を元の位置【P.15　手順6参照】に戻す

水道水フィルター（水抜き栓）を確実に閉めないと水漏れをおこします。

再び使用するときは





お願い

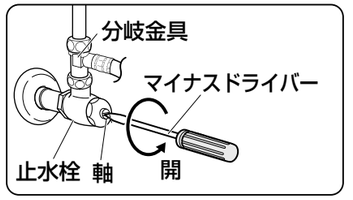
- **電源ランプと8時間切ランプが2回点滅を繰り返している場合**
  温水タンク内の空焚き表示です。
  故障ではありません。
  〈以下の処置をする〉
  - 水道元栓、止水栓を開き、右記手順4～10を行ってください。
    （電源ランプと8時間切ランプは消灯します）

お知らせ

- 洗浄停止後、約7～8分間はノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水があたたまったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。

■ 室温が0 ℃未満では本体内の残水が凍結している場合があり使用できません。
室温が上がってから以下の手順で使用できることを確認してください。

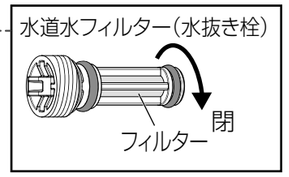
1 止水栓を十分開き
給水する



- 止水栓の軸を開側へ回す。

水道水フィルター（水抜き栓）部からの水漏れがないかを確認する。

→水漏れしている場合は、水道水フィルター（水抜き栓）を確実に閉めてください。



2 便座の下に
お手持ちの薄手のポリ袋などをはさむ

水の飛び散り防止のため

3 電源プラグを
コンセントに差し込む

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅した後、点灯に換わります。
- 本体の電源ランプが点灯しないまたは、漏電テストランプが点灯した場合は、再度電源プラグを差し直してください。

◎ **温水タンクの空焚き防止のため、（温水）を押し、温水温度を「切」にしてください。**

4 （ノズル掃除）を押す

- 本体の温水タンクに注水を始めます。
  ノズルが出て、約1分後ノズルお手入れ状態になり、水が下向きに出ます。
  水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

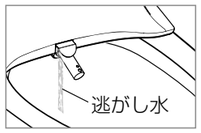
5 停止 （■）を押す

- ノズルが元に戻ります。

6 便座の左後部を押しながら（着座ランプ点灯）
おしり （　）または ビデ （　）を押す

- 着座検知し、脱臭（CH962Sのみ）が始まります。（作動音がします）
- ノズルを洗浄し、約5～8秒後に洗浄水が出ます。
  （ 着座検知していないと、洗浄水が出ません）

ノズル周辺部から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。



- ポリ袋の上から見て、洗浄水が当たっていることを確認してください。

7 停止 （■）を押す

- ノズルが戻った後、ノズルを洗浄する水が出ます。

8 ポリ袋を外す

9 （温水）と（便座）のスイッチで温度を設定する【P.12】
（室温や水温により異なりますが、約5～12分後に便座温度と温水温度が安定します）

10 着座して
洗浄水と便座のあたたかさを確認する

定期点検

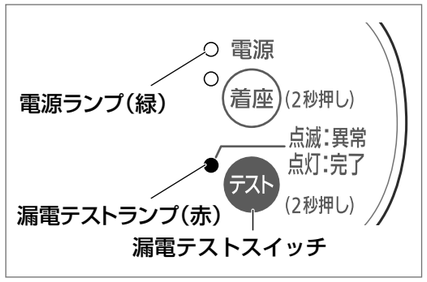
①漏電検知の点検…月に1回（お客様が行ってください）

漏電による感電を防止するため点検を行ってください。
そのままにしておくと、異常がある場合、感電の原因となります。

1 漏電テストスイッチを2秒以上押す
- 漏電テストランプ（赤）が点灯することを確認してください。

2 電源プラグを抜く
- 漏電テストランプ（赤）が消灯することを確認してください。

3 電源プラグを差し込む
- 本体の電源ランプ（緑）が約10秒間点滅した後、点灯に換わることを確認してください。



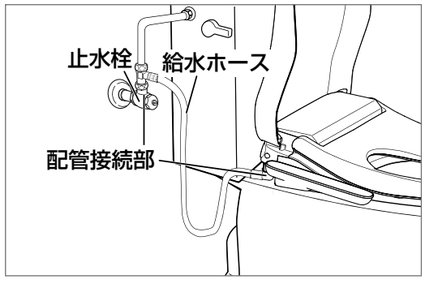
点検時以外に、漏電テストスイッチを押さないでください。
異常がある場合は、漏電テストランプが点滅します。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。

②配管・本体まわりの点検…月に1回（お客様が行ってください）

そのままにしておくと、異常がある場合、水漏れの原因となります。

1 ゆるみ、傷み、破損がないかを確認する
- 配管接続部のゆるみや、給水ホースに傷みや破損がないかを確認してください。

2 水漏れがないかを確認する
- 給水ホースや本体まわりからの水漏れがないかを確認してください。



異常がある場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、止水栓を全閉にしてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。

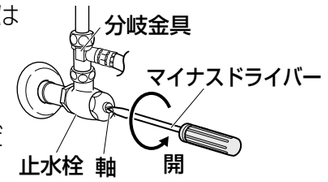
③逆流防止装置の定期的な点検のおすすめ（専門業者に依頼）

逆流防止装置は、5年を目安にお買い上げの販売店または工事店に点検を受けていただくことをおすすめします。そのままにしておくと、異常がある場合、汚水が水道管へ逆流するおそれがあります。

よくあるご質問

洗浄水が出ない！ 洗浄水の出が悪い！

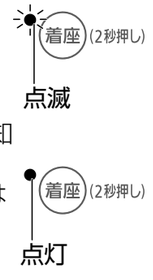
- 止水栓が閉または絞りすぎていませんか。
  → 止水栓を十分に開いてください。



- ノズルに水あかなどがつまっていませんか。
  →ノズルを歯ブラシなどでお手入れしてください。【P.16】
- 水道水フィルター（水抜き栓）がつまっていませんか。
  →給水を止めて水道水フィルター（水抜き栓）を外しフィルターを歯ブラシなどでお手入れしてください。【P.18】



- おしり、ビデスイッチを押したとき着座ランプが点滅していませんか。
  →便座の前方に座ったときなどまれに着座検知できないことがあります。
  中央部に座り直しても着座検知しない場合は、着座スイッチを2秒以上押し、おしりまたはビデスイッチを押すと洗浄できます。
  （着座スイッチを押してから約30秒で着座検知が解除されます。約30秒以内に洗浄スイッチの操作をしてください）

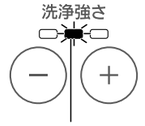


便ふたカバー・便座カバー・便座シートは使えますか?

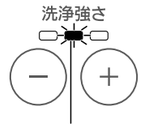
- 便ふたカバー・便座カバー・便座シートは使用できません。
  →便ふたカバー・便座カバー・便座シートを使用すると、開閉部などに負担がかかり故障の原因となります。
  →着座センサーが正常に作動しない場合があります。

洗浄強さを使用毎に標準設定「中」に戻したいのですが…

- お買い上げ時は、前回の設定を記憶します。
  →記憶させない場合は下記の設定をしてください。
  停止 ■ と ＋ を2秒以上押す
- 洗浄強さランプの真ん中のランプが2回点滅します。

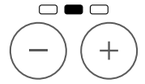


■元に戻したい場合
再度 停止 ■ と ＋ を2秒以上押す



洗浄強さを変更できますか?

- おしり、ビデの洗浄中に右記のスイッチで調節してください。【P.12】



便座の暖房を切りたいのですが…

- 便座温度を「切」にしてください。【P.12】



ノズル周辺部から水が出ているのですが…

- 水圧の調整、ノズル洗浄のための逃がし水で故障ではありません。【P.11】

本体が「がたつく」のですが…

- 本体取付ボルトのナットがゆるんでいませんか。
  →ナットを締め付け直してください。【施工説明書P.10】



故障かな?

ホームページで
ご確認いただけます。
通信料金はお客様の
ご負担となります。

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	症　状	調べるところ・原　因　・　対　策	参照ページ
ランプについて	電源ランプが消灯している	● 本体操作部の漏電テストランプが点灯していませんか。 ➡ 電源プラグを抜き、漏電テストランプが消灯してから電源プラグを差し込んでください。	8 22
	電源ランプと8時間切ランプが2回点滅を繰り返す	● 温水タンク内の空焚き表示です。水道元栓、止水栓が十分に開いていることを確認してください。その後、P.21の「再び使用するときは」の手順に従ってください。	21
	電源を入れたとき電源ランプが点滅する	● 初期設定をしている間、約10秒間点滅しますが、その後点灯に換わります。異常ではありません。	8
洗浄について	座ったときに操作部のスイッチを操作しても動かない（おしり洗浄、ビデ洗浄など）	● 操作部の着座ランプが点灯していますか。便座の前方に座ったときなど、まれに着座検知できないことがあります。 ➡ 中央部に座り直しても着座検知しない場合は、着座スイッチを2秒以上押し、おしりまたはビデスイッチを押すと洗浄できます。（着座スイッチを押してから約30秒で着座検知が解除されます。約30秒以内に洗浄スイッチの操作をしてください） ● 脚ゴムが便器面に載っていますか。 ➡ 脚ゴムが便器面から脱落しない位置に調整してください。	23 施工説明書 10
脱臭について	十分に脱臭できない（CH962Sのみ）	● 脱臭用フィルターにほこりがつまっていませんか。 ➡ フィルターを乾いた歯ブラシなどでお手入れしてください。	17
	便座から立ち上がっても脱臭が自動停止しない（CH962Sのみ）	● 便座から立ち上がった後、約1分間は脱臭運転しています。 ➡ 約1分後に停止します。	9
	座ったときに脱臭が始まらない（CH962Sのみ）	● 操作部の着座ランプが点灯していますか。 便座の前方に座ったときなど、まれに着座検知できないことがあります。 ➡ 中央部に座り直しても着座検知しない場合は、着座スイッチを2秒以上押すと、着座検知した状態になります。ただし、脱臭するタイミングはおしり、ビデ洗浄時に開始します。	10 11
		● 脱臭「切」設定になっているかもしれません。「8 時間切」「－」を２秒以上押すと脱臭「入」設定になります。	9
温水について	温水温度が低い、冷たい	● 温水温度設定を「切」にしていませんか。 ➡ 温水温度をお好みの温度に設定してください。	12
		● 「節電」や「８時間切」に設定していませんか。 ➡ 「節電」や「８時間切」を解除してください。	13
		● ノズル除菌クリーニングを行った直後ではありませんか。 ➡ ノズル除菌クリーニングを行うと、温水タンク内のお湯がなくなります。約5～７分待つとお湯になります。（水温によって異なります）	17
		● 電源ランプと8時間切ランプが2回点滅（空焚き異常）中に電源プラグを抜き差しした場合、温水温度設定は「切」となります。 ➡ 温水温度を再設定してください。	12
	温水が途中から水に変わってしまう	● 本体の温水タンク容量は約 0.47 L です。洗浄強さ「中」、で約 45 秒使うと水に変わります。洗浄を止め、約５～７分待つとお湯になります。（水温によって異なります）	11

	症　状	調べるところ・原　因　・　対　策	参照ページ
音について	ノズルが出るときに音がする	● ノズルモーターの駆動音で異常ではありません。	－
	着座すると、「ブオーン」と音がする（CH962Sのみ）	● 脱臭が作動するときのファンモーターの音です。異常ではありません。	9 10
便座について	便座が冷たい	● 便座温度設定を「切」にしていませんか。 ➡ 便座温度をお好みの温度に設定してください。	12
	座ったときに便座が冷たく、しばらくするとあたたかくなる	● 節電ランプが点灯していませんか。 ➡ お使いにならない時間帯ごとに暖房便座の設定温度を自動的に下げて節電していますので、着座したときに冷たく感じる場合があります。 ● 8時間切ランプが点灯していませんか。 ➡ 暖房便座への通電を止めていますので、便座は冷たくなっています。	13 13
その他について	洗浄前や洗浄後、ノズル周辺から便器に水が出ている	● 使い始めと終わりにノズルを洗浄しているため、便器内に水が出ますが、異常ではありません。	10 11
	ロータンクの手洗いボールより水が飛び散る	● 水圧が高く、給水量が多いためです。止水栓で調節してください。	18
	便座に座るとがたつく	● 便座が下がることで着座を検知するため、脚ゴムと便器の間に隙間を設けています。脚ゴムは左右の高さが違います。（着座検知しやすいように高さを変えています）体重を移動させたとき、少しがたつくことがありますが異常ではありません。	6、7 施工説明書 17
		● 取付ボルトのゆるみが考えられますので、ナットの締め付け確認をお願いします。 ● 本体が便器から脱着できる構造のため締め付け後も少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。	施工説明書 10
	においがする	● 購入後すぐは、樹脂のにおいがしますが、ご使用とともに減少します。異常ではありません。	－

次のような場合には必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

- 電源プラグを差し直しても本体の電源・漏電テスト・節電・便座温度・温水温度・8時間切ランプがいつまでも点滅する。**（電源プラグを抜くこと）**
- 電源プラグを差し直しても本体の電源ランプが点灯しない。
- 煙が出たり、異常な音やにおいがする。**（電源プラグを抜くこと）**

次のような場合は設定が取り消されますので、再設定をしてください。

このようなとき	再設定する機能	参照ページ
電源プラグを抜いたとき 漏電テストスイッチを押したとき 停電が1秒以上続いたとき	● 洗浄強さ ● 節電/8時間切	12～13

仕　様

項目＼品番		CH962S	CH961S
給水方式		水道直結給水式	
定格	電源	交流 100 V　50-60 Hz	
	消費電力	294 W（本体：247 W 便座：47 W）	292 W（本体：245 W 便座：47 W）
区分 ※1		貯湯式	
年間消費電力量 ※2		141 kWh/年（194 kWh/年）	
暖房便座	標準表面温度 ※3	「切」室温、3段階切り換え「低」約29 ℃（約29 ℃）/「中」約33 ℃（約30 ℃）/「高」約37 ℃（約33 ℃）	
	安全装置	温度ヒューズ	
脱臭装置	脱臭剤	触媒脱臭	−
	風量	0.1 m³/分	−
洗浄装置	最大流量	おしり洗浄：0.65 L／分　　ビデ洗浄：0.65 L／分	
	流量調節	3段階	
	標準温水温度	「切」水温、3段階切り換え「低」約37 ℃／「中」約38.5 ℃／「高」約40 ℃	
	貯湯量	約0.47 L	
	安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止装置・逆流防止装置	
その他の安全装置		漏電検知機能・着座センサー	
使用温度範囲		0～35 ℃（給水温度）　0～40 ℃（周囲温度）	
使用水圧範囲 ※4		49～735 kPa {0.5～7.5 kgf／cm²}	
標準寸法（幅×高さ×奥行）		47 cm×11 cm×52 cm	
標準質量		3.2 kg	3.1 kg

※1：省エネ法（2012年度基準）の区分
※2：年間消費電力量は4人家族(男性2人･女性2人)で使用の場合。〔室温:5 ℃(冬季)･15 ℃(春秋季)･28 ℃(夏季)、水温:15 ℃〕おしり洗浄使用1日4回、ビデ洗浄使用1日8回、男性小用1日4回で省エネ法（2012年度基準）の測定方法に準拠し、標準品を測定して計算しました。
（　）内は8時間切設定による節電を使用しない場合の年間消費電力量です。
※3：（　）内は着座していないときの温度です。
※4：使用水圧範囲が147 kPa以下では洗浄強さ調節範囲が狭くなります。

抗菌樹脂を使用した部分と試験結果

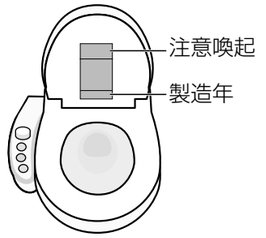
便座（着座面）／ノズルシャッター	
● 試験機関…石塚硝子（株）抗菌試験所	● 抗菌方法… 抗菌剤を樹脂に練り込み
● 試験方法…フィルム密着法　JIS Z 2801	● 試験結果…24時間後99 %以上抑制 上記試験は2種類のみの菌で実施

安全にお使いいただくために

長期間使用に関する本体への表示について

■本体への表示内容

●経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に以下の内容を表示しております。
●製造年（本体に西暦４桁で表示しています）



【想定安全使用期間】10年(一般家庭用に設置された場合)
想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、
経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれあり。

■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障がなく使用できる期間として想定される期間です。

〈標準使用条件〉

環境条件	電圧、周波数	AC100 V　50/60 Hz	機器の定格電圧 / 周波数による
	温度	20 ℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15 ℃　0.2 MPa	JIS A4422 による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定条件	4人家族(男性2人、女性2人)において、大便：1回/日・人、小便男性：4回/日・人、小便女性：4回/日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

■経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

一般社団法人
日本レストルーム工業会からのお知らせ

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

ご自宅の温水洗浄便座、何年お使いですか? 故障していませんか?



長年のご使用や故障したままでのご使用、誤ったお手入れは、電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。

温水洗浄便座を安全にご使用いただく3つのポイント

1. 電気製品ですので、正しいお手入れを行なってください。
   誤ったお手入れは、故障や発煙・発火の原因になります。
2. ご自宅の製品がリコール製品・故障していないかをご確認ください。
   安心してご使用いただくために、まずはご自身で安全チェックをおこなってください。
3. 長期間お使いの製品は点検と買い替えをご検討ください。
   長期間（10年以上）ご使用の製品は買い替えをご検討ください。

お使いの温水洗浄便座は大丈夫ですか?

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- □ トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。
- □ ボタンを押しても動かない。
- □ ノズルが正常に出てこない、戻らない。
- □ 便座が異常に熱いときや時々、冷たい時がある。
- □ お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。
- □ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。
- □ 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。
- □ 便座にひびや割れがある。
- □ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
- □ 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
- □ 製品や便器を伝って水漏れしている。
- □ 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

【発行元】
一般社団法人
日本レストルーム工業会
●詳細はこちらをご覧ください
https://www.sanitary-net.com/
トイレナビ　検索
経済産業省　一般社団法人 リビングアメニティ協会



施工完了 チェックシート

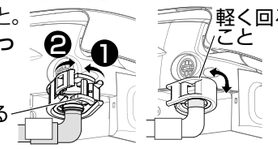
確認日	年　月　日
確認者	

1□から7□を
☑ チェック

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1□ クイックファスナーを正しく取り付けていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- **給水ホースを引っ張っても抜けないこと。**



＊クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

2□ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

3□ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

＊洗浄中、ノズル周辺部から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。【P.17】

4□ 電源は入っていますか

- 電源ランプが点灯していることを確認してください。

5□ 温水タンクに水が入っていますか

- 施工完了後、ノズル掃除スイッチを押すと、ノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。

6□ 着座センサーは正常に働きますか

- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。

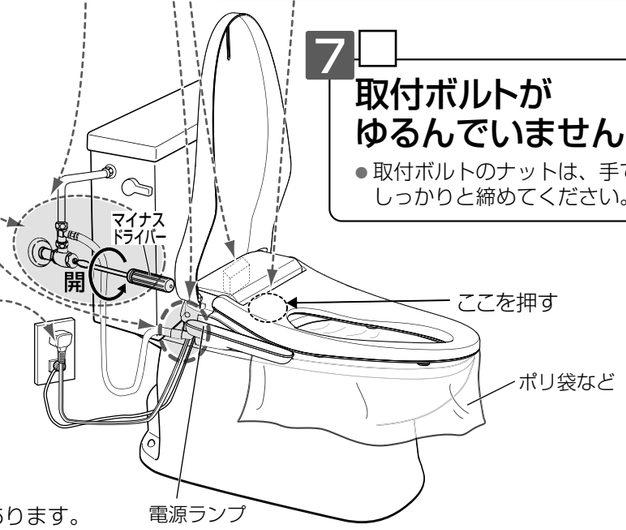
着座(2秒押し) 点灯

便座の左後部を押しながら、おしり または ビデ を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

- 便座の脚ゴムが便器の上にきっちり載っていなかったり、ノズルの下の凸が便器に載り上げしていませんか。正しい位置に取り付けができていない場合は、正しい位置に本体を取り付け直してください。

7□ 取付ボルトがゆるんでいませんか

- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



お願い

- 試運転は、必ず行ってください。【P.16】

配管方法などはイラストと異なる場合があります。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

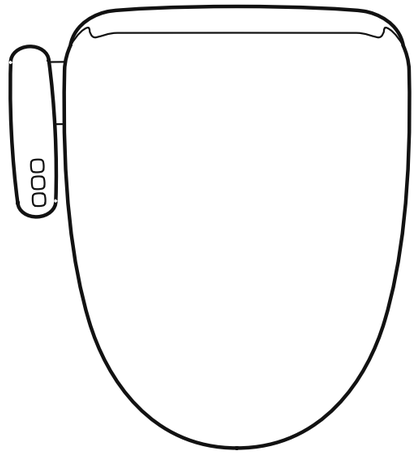
© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2026

Panasonic

施工説明書

温水洗浄便座 家庭用 ビューティ・トワレ

品番 CH962S
CH961S



1 準備
安全上のご注意 …… 2
施工の流れ …… 3
各部の名前と同梱部品の確認 …… 4

2 取付
施工の前に …… 6
トイレの給水を止める …… 7
既設の温水洗浄便座、一般便座を取り外す … 8
給水ホースを本体に取り付ける …… 9
本体を取り付ける …… 10
分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける … 12
給水管を取り付ける …… 13
アース線を接続する …… 13
止水栓を開ける …… 13
市販のフレキシブルパイプで施工できない場合 … 14

3 試運転
試運転 …… 16

4 確認
こんなときは …… 18
施工完了チェックシート …… 裏表紙

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」【P.2】は、施工前に必ずお読みください。

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- 施工完了後、施工説明書はお客様にお渡しください。
- 施工説明書のイラストはCH962Sで説明しています。

パナソニックホームページのサポート情報の画面から取り付け方を動画で公開しています。通信料金はお客様のご負担となります。

ADL944PZZWC0
CS1225-0

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

⃠

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない**
（たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因）

■ **電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない**
（傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因）

■ **傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない**
（感電や発熱による火災の原因）

■ **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
（感電の原因）

■ **上水道以外には接続しない**
（ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因）
（腐食や異物付着による水漏れの原因）

■ **バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない**
（感電や火災の原因）

❗

■ **D種接地工事を行う**
（アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因）

■ **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
（差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因）

■ **施工は、施工説明書に従って確実に行う**
（説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因）

■ **施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因）

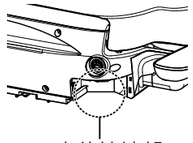
■ **電気工事は、内線規程に従って施工する**
（内線規程に従わないと、火災、感電の原因）

■ **コンセントのアース端子にアース線を取り付ける**
（アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因）

⚠注意

⃠

■ **本体接続口は、落下等でストレスをかけない**
（ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因）



本体接続部

■ **給水ホースを折り曲げたりつぶしたりして施工しない**
（給水ホースに亀裂が入り水漏れの原因）

❗

■ **水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う**
（条例に基づいて行わないと、水漏れの原因）

■ **移動や施工時、本体を持つ**
（便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因）

施工の流れ

各部の名前と同梱部品の確認 P.4 P.5

施工の前に
- 市販のフレキシブルパイプで施工可能
- 市販のフレキシブルパイプで施工できない → 市販のフレキシブルパイプで施工できない場合（専門業者への依頼をお勧めします） タイプ A B C D P.14 P.15

トイレの給水を止める P.7

既設の温水洗浄便座、一般便座を取り外す P.8

給水ホースを本体に取り付ける P.9

本体を取り付ける
- 下からナット締めができる便器の場合 P.10
- 下からナット締めができない便器の場合（上面施工） P.11

タイプ A → 分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける P.12
タイプ B C D → 給水管を取り付ける P.13

アース線を接続する P.13

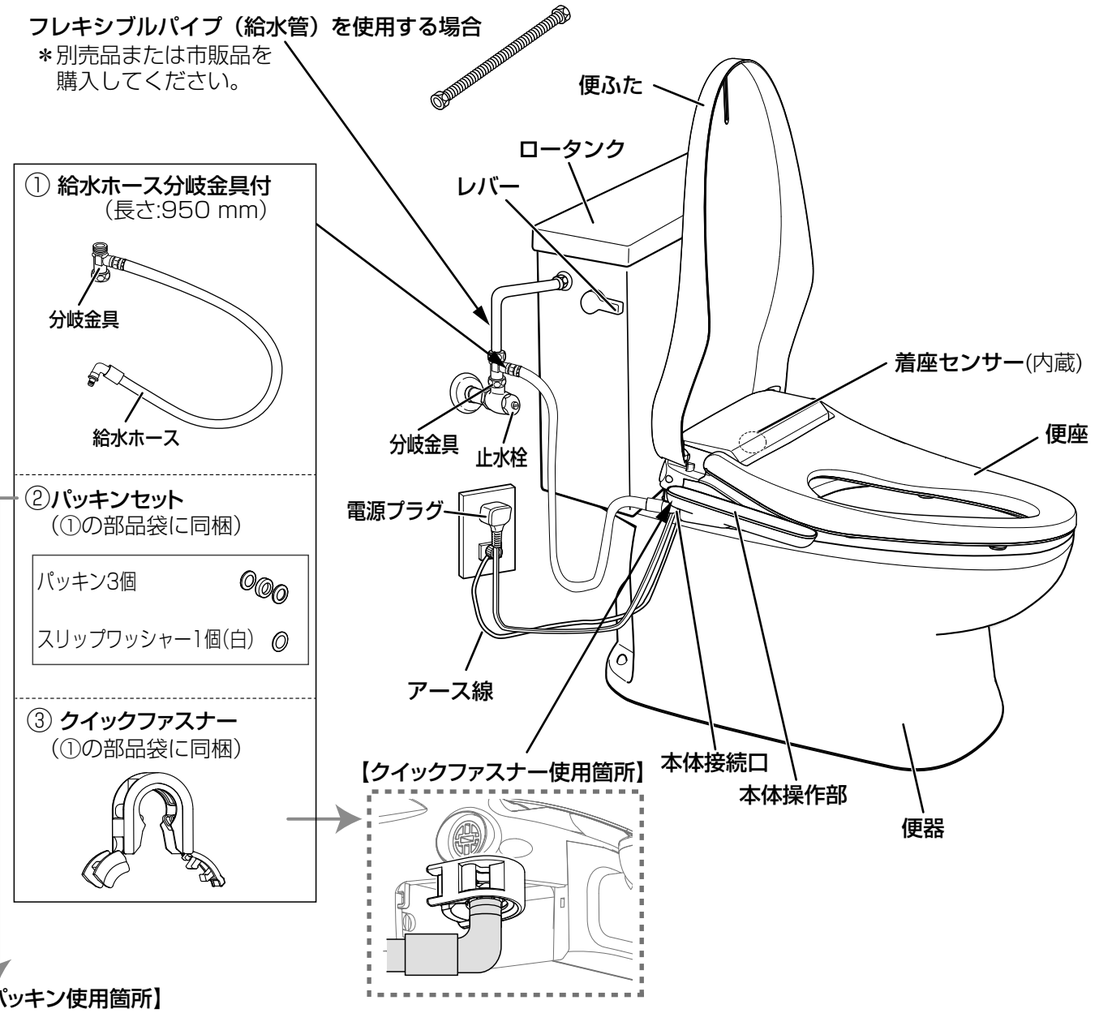
止水栓を開ける P.13

試運転 P.16

施工完了チェックシートで確認する 裏表紙

各部の名前と同梱部品の確認

施工方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。



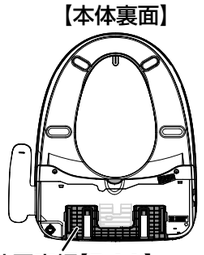
⚠警告

■ **分岐金具接続時にシールテープを使用しない**

（シールテープがパッキンに挟み込み水漏れのおそれあり）

■ **同梱のパッキン、クイックファスナーを使用する**

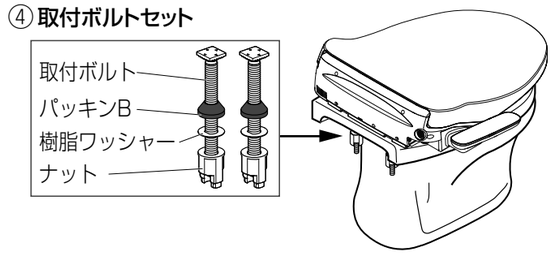
（取り付け忘れや、他の部品で接続すると重大な水漏れのおそれあり）



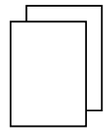
【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 チェック

番号	部品名		数量	チェック欄
①	給水ホース分岐金具付		1	□
②	パッキンセット （パッキン 青 厚さ2 mm ×1 パッキン 黒 厚さ4 mm ×1 パッキン 黒 厚さ2.5 mm ×1 スリップワッシャー 白 ×1）		1	□ （①の部品袋に同梱）
③	クイックファスナー		1	□ （①の部品袋に同梱）
④	取付ボルトセット		1	□
⑤	説明書セット	取扱説明書 施工説明書	1	□

④ **取付ボルトセット**



⑤ **説明書セット**
（取扱説明書･施工説明書）



準備

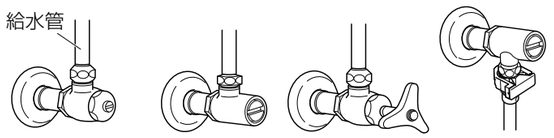
施工の前に

＊同梱部品で施工できない場合があります。

トイレの給水管を確認し、必要な別売品を準備してください。

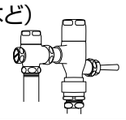
■初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

● 市販のフレキシブルパイプで施工可能



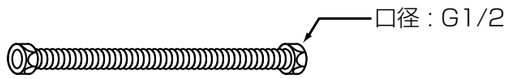
＊ 市販のフレキシブルパイプで施工できない→【P.15 C D】

- 止水栓のない（寒冷地用など）給水管から給水する場合
- フラッシュバルブから給水する場合

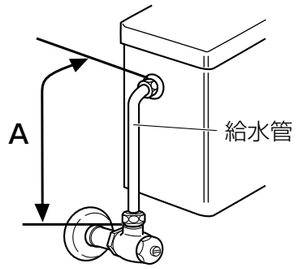


〔給水管の長さの確認〕

㋑フレキシブルパイプで接続する場合は、購入が必要です。
A寸法に合った下表の部材を購入してください。



㋺既設の給水管を使用して接続する場合は、給水管の切断が必要です。【P.13】

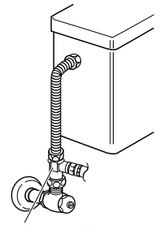


①別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

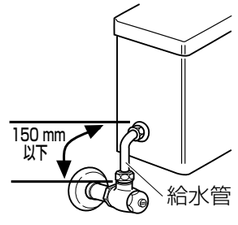
	フレキシブルパイプの長さ	品番
別売品	250 mm	AD-HS25BA ☆
	300 mm	AD-HS30BA ☆
	350 mm	AD-HS35BA ☆
	400 mm	AD-HS40BA ☆
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。

☆は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。
別売品の品番は変更されることがあります。

②フレキシブルパイプの設置例



③A寸法が約150 mmより短い場合、給水管が外れない場合、給水管に専用のストレーナー（フィルタ）が付いている場合
→【P14 B】



＊ 同梱の給水ホースでは短い場合

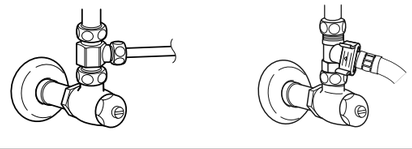
別売の給水ホースが必要です。販売店でご購入ください。→【P.9 お知らせ】

＊ 便器がアラウーノV便器、下からナット締めできない便器の場合

別売の上面施工ボルトセットが必要です。販売店でご購入ください。→【P.11】

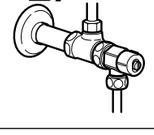
■既設の温水洗浄便座から取り替える場合

● 市販のフレキシブルパイプで施工可能



＊ 市販のフレキシブルパイプで施工できない→【P.14 A】

- 止水栓のねじ部分が分岐水栓になっている場合



お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工してください。
- **必ず同梱の給水ホース分岐金具付をご使用ください。**
- **既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設のひとセンサーやリモコンは必ず取り外してください。（干渉して誤動作します）**

お知らせ

- **この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、故障ではありません。**
- 使用水圧範囲は49～735 kPa{ 0.5～7.5 kgf/cm^2 } です。
- 本体は2本の取付ボルトと、前の片側の脚ゴムの3点で支える構造です。便座の片側が浮いていますが、便座の強度に問題ありません。【P.21】
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。

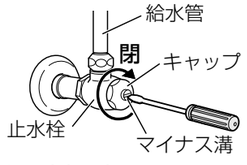
■ご準備いただくもの

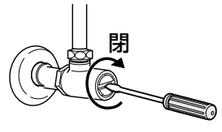


トイレの給水を止める

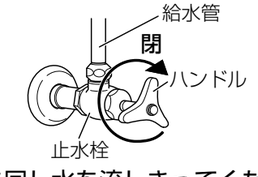
■止水栓がある場合 → 止水栓を閉める

●マイナス溝タイプ





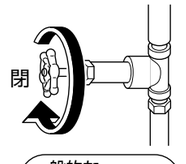
●ハンドルタイプ



止水栓を閉側に止まるまで回した後、ロータンクのレバーを回し水を流しきってください。

■止水栓がない場合 → 家の水道の元栓を閉める

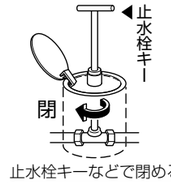
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- **施工完了後は、水道の元栓を十分開いてください。**



一般的なマンションの場合



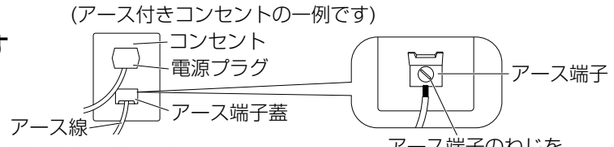
水道メーターと一体になった元栓の場合



埋込み式の元栓の場合

既設の温水洗浄便座、一般便座を取り外す

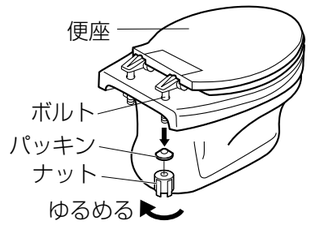
❶〈既設の温水洗浄便座から取り替える場合〉
電源プラグを抜き、アース線を外す



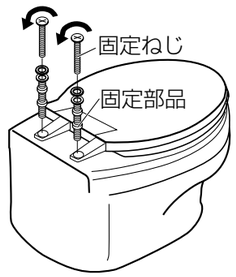
❷〈初めて温水洗浄便座を取り付ける場合〉**一般便座を取り外す**
〈既設の温水洗浄便座から取り替える場合〉**既設の温水洗浄便座を取り外す**

下からナット締めができる便器の場合

1.ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2.ナット、パッキンを外し便座を取り外す。

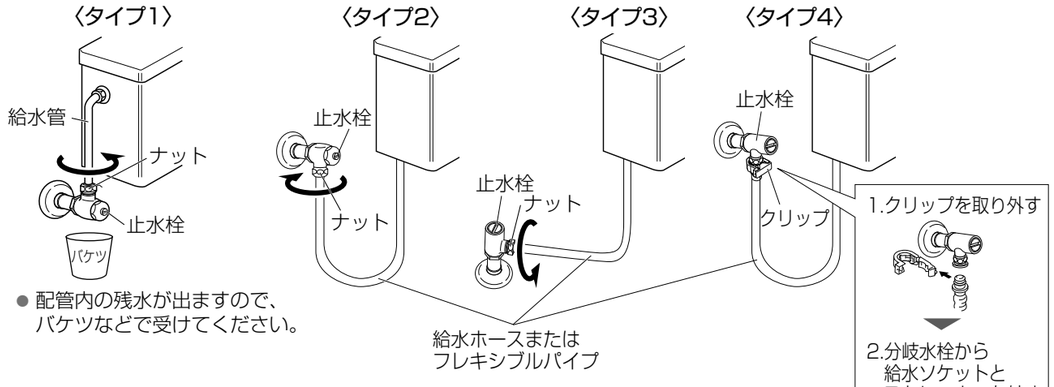


下からナット締めができない便器の場合(上面施工)



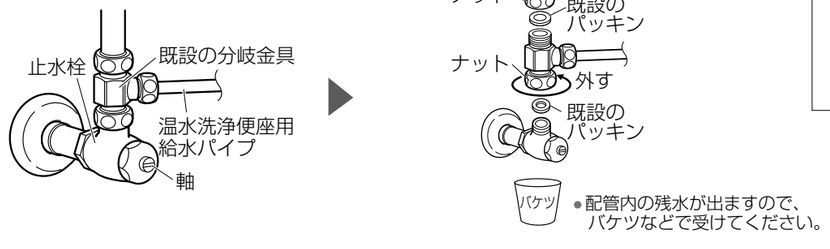
(ナットがさびてゆるまないときは)
- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のこなどでボルトを切断する。

❸〈初めて温水洗浄便座を取り付ける場合〉
ナットをゆるめ、給水管（給水ホースまたはフレキシブルパイプ）を取り外す



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

〈既設の温水洗浄便座から取り替える場合〉
ナットをゆるめ、分岐金具を取り外す

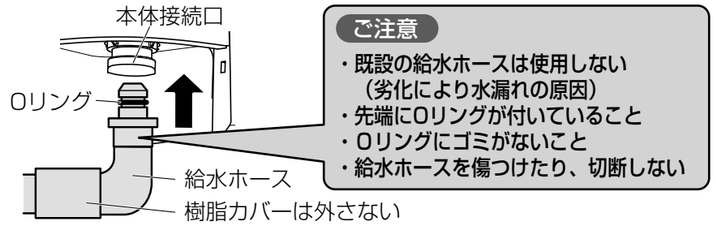


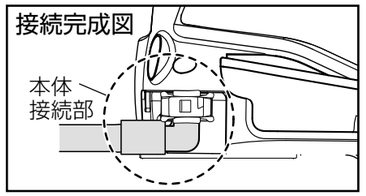
- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

給水ホースを本体に取り付ける

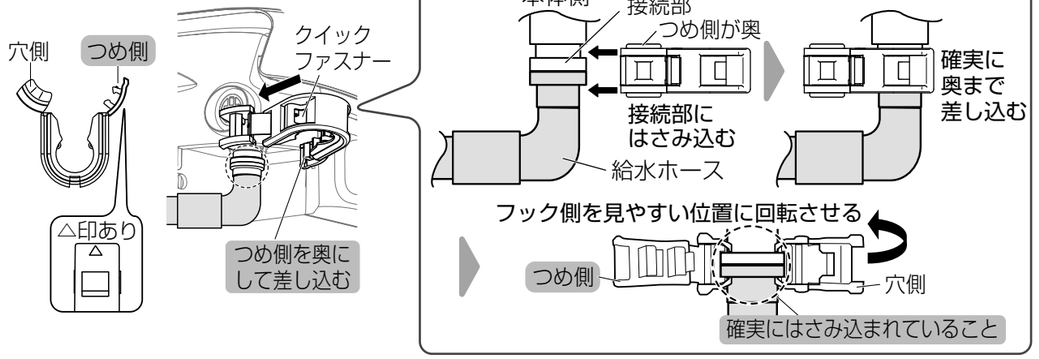
重要：クイックファスナーを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因

❶ **本体接続口に給水ホースをまっすぐ差し込む (同梱の給水ホース(L型)以外は取り付けできません)**



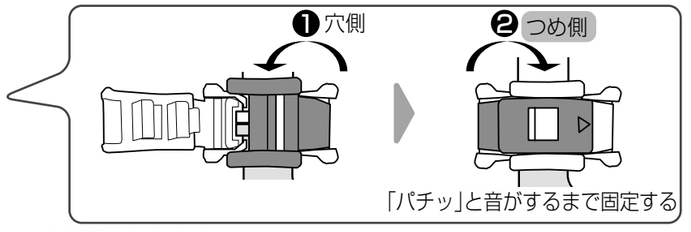


❷ **クイックファスナーで本体接続口と給水ホースの接続部をはさみ込む**



❸ **クイックファスナーのフックを確実に固定する**

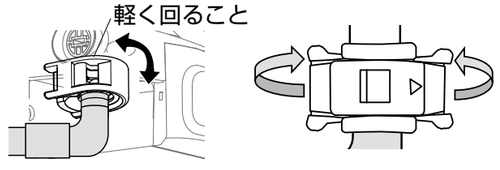




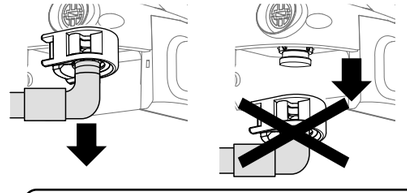
＊クイックファスナーを外すときは逆の手順となります。

❹ **必ず確認してください**

①クイックファスナーが軽く回ること



②給水ホースを引っ張って抜けないこと



お知らせ

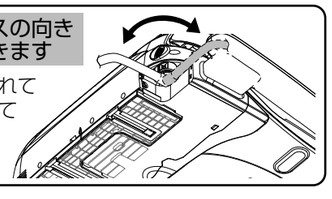
給水ホースが短い場合は、**別売品**を
ご購入ください。

1300 mm用	AD-DL432-13A	☆
2500 mm用	AD-DL432-25A	☆

☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
別売品の品番は変更されることがあります。

給水ホースの向きを変更できます

少し力を入れて
方向を変えて
ください。

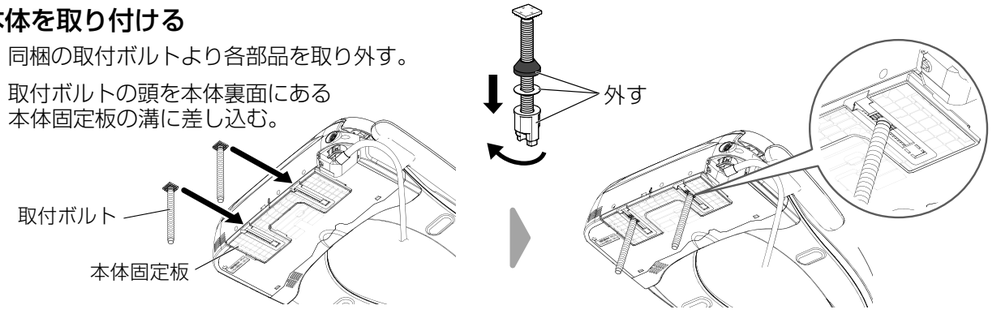


本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

❶ 本体を取り付ける

1. 同梱の取付ボルトより各部品を取り外す。
2. 取付ボルトの頭を本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。

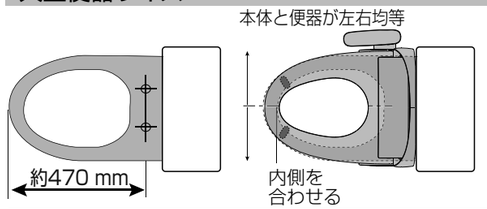


3. 取付ボルトを便器の穴に差し込み固定する。

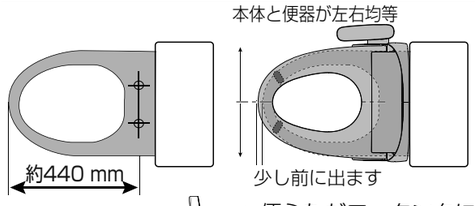
【設置位置の目安】

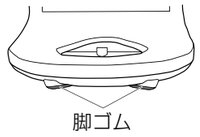


大型便器サイズ



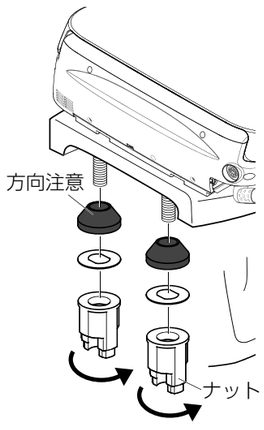
標準便器サイズ



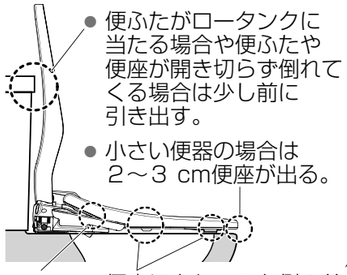


- 脚ゴムが便器面と左右均等にある。
- 脚ゴムの位置が便器面の真上にある。

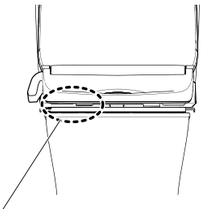
＊脚ゴムが便器面からズレていると着座検知しない原因となります。



手でナットを仮締めする



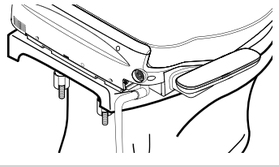
- 便ふたがロータンクに当たる場合や便ふたや便座が開き切らず倒れてくる場合は少し前に引き出す。
- 小さい便器の場合は2～3 cm便座が出る。
- 便座と本体ケースの間に隙間がある。
- 便座に向かって左側の前と後の脚は便器と接触しない。後ろ脚は便器と3 mm以上の隙間がある。



お願い **正しく取り付けないと着座検知しません。(洗浄できません)**

❷ 本締めする

- ナットを手で締め付ける。



(取付ボルトが長すぎるときは金のこなどで適当な長さに切断する)

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。

P.10の取り付けができる場合は下記作業は不要です。

下からナット締めができない便器の場合(上面施工)

下記別売品が必要ですので、ご購入ください。

㋕は、サービスルート扱い（別売品）です。

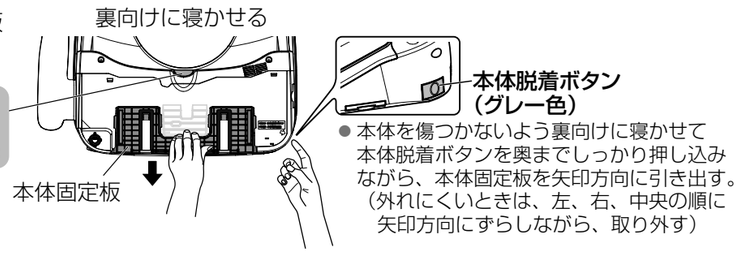
〈㋕別売品〉上面施工ボルトセット
（品番：ADL55DWZHQC1）



❶ 本体固定板を取り外す

- 本体裏面にある本体固定板を取り外す。

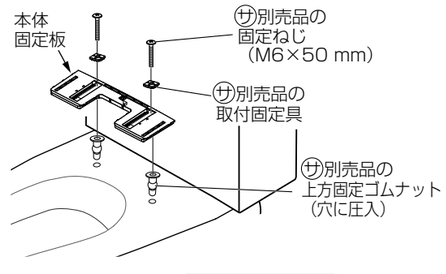
ノズル収納部は**絶対に押さないでください。**
（ノズルが出なくなる原因）



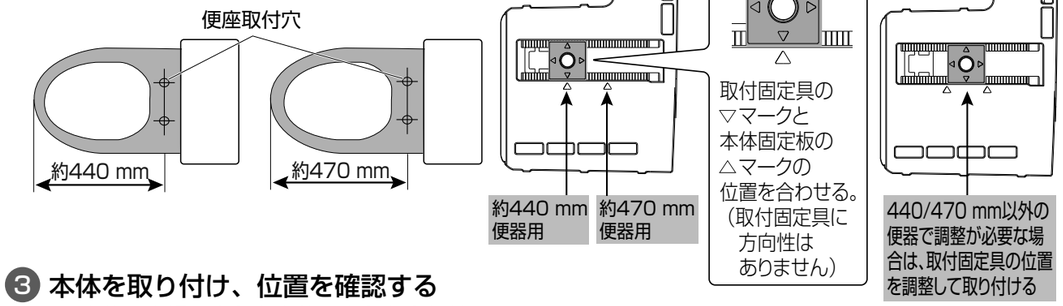
- 本体を傷つかないよう裏向けに寝かせて本体脱着ボタンを奥までしっかり押し込みながら、本体固定板を矢印方向に引き出す。（外れにくいときは、左、右、中央の順に矢印方向にずらしながら、取り外す）

❷ 本体固定板を取り付ける

- 別売の上面施工ボルトセットで本体固定板を便器に仮締めする。

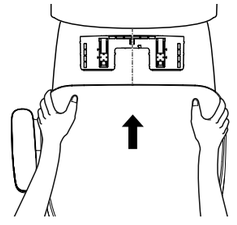


標準便器サイズ **大型便器サイズ**



❸ 本体を取り付け、位置を確認する

1. 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる。
2. 本体を両手で軽く便器面に押し付けながら矢印方向にすべらせ「カチッ」と音がするまで押し込む。
   - 電源コードをはさみ込まないようにする。
3. 本体の取付位置を確認する。
   - 位置が良くない場合は、本体を外して本体固定板の位置を調整する。



お願い

正しく取り付けないと着座検知しません。(洗浄できません)【P.10】

❹ 本体を一度外して、本体固定板を便器に固定する

- 本体脱着ボタンを押しながら本体を手前に引き出し、固定ねじをプラスドライバーで締め付ける。

❺ 本体を取り付ける

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

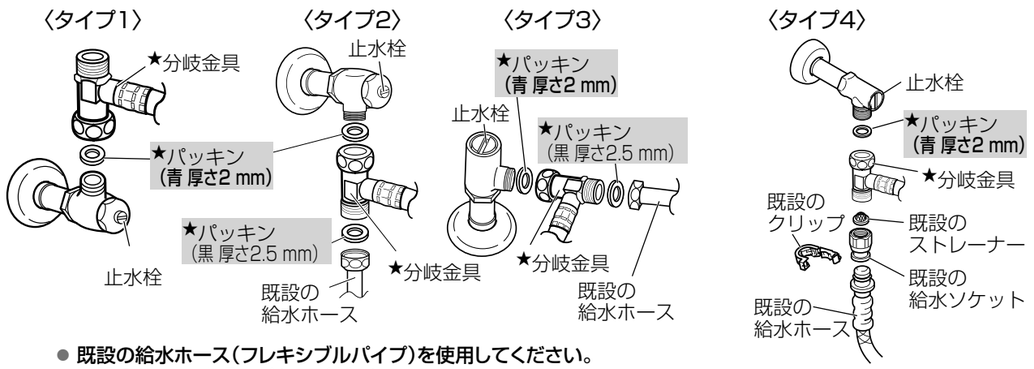
本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。

分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける

★は、同梱部品です。

〈初めて温水洗浄便座を取り付ける場合〉

分岐金具を止水栓に取り付ける



● **既設の給水ホース（フレキシブルパイプ）を使用してください。**
既設のパッキンは取り除いてください。
ただし、既設の給水ホースにストレーナーが入っており縁にパッキンがある場合は専門業者にお問い合わせください。
（劣化のおそれがあるため、新しいパッキン付きストレーナーに交換が必要です）

〈タイプ1の場合〉

P.13　給水管を取り付ける

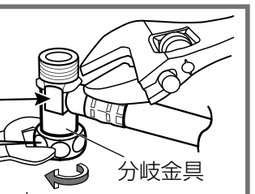
〈タイプ2、3、4の場合〉

P.13　アース線を接続する

〈分岐金具の締め付け方〉

回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」の工具でこの部分を固定する

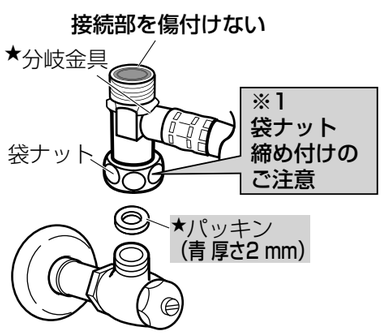
時計方向に手で仮締めをし、スパナで締め付ける



締付トルク：10～15 N·m{100～150 kgf·cm}
（指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない）

〈既設の温水洗浄便座から取り替える場合〉

分岐金具を止水栓に取り付ける



P.13　給水管を取り付ける

※1 袋ナット締め付けのご注意

● 水漏れしないように袋ナットを最後まで確実に締め付けてください。また、強く締め付けすぎると、パッキンのずれ、切れなどにより水漏れすることがあります。

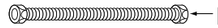
給水管を取り付ける

★は、同梱部品です。

● **既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。**

フレキシブルパイプを使用する場合

フレキシブルパイプを使用し、接続する。



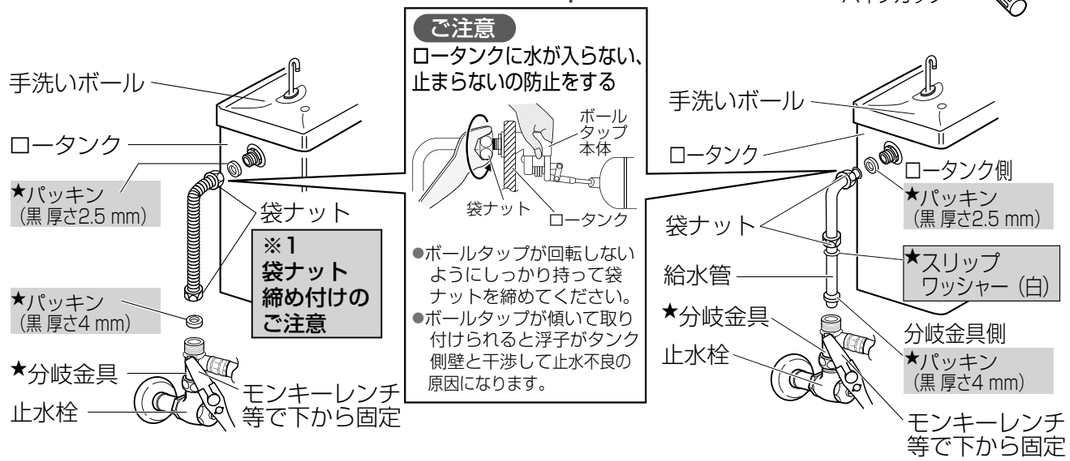
お願い

フレキシブルパイプは
- **必要な長さを確認し、別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。【P.6】**
- **曲げ過ぎない**
- **何度も曲げ直さない（折れることがあります）**
- **切断しない**

既設の給水管を使用する場合 給水管にストレーナー（フィルター）がある場合

- 給水管が短い場合は、専門業者にお問い合わせください。（市販の給水管等の購入が必要です）
- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- 分岐金具への差込代は約10 mmを必ず確保する。





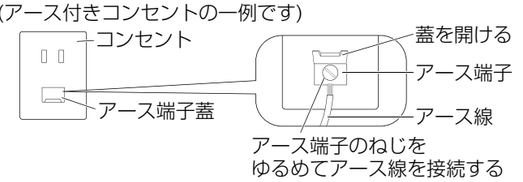
アース線を接続する

コンセントにあるアース端子に、必ず接続してください

（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）

電源プラグはまだ差し込まないでください。

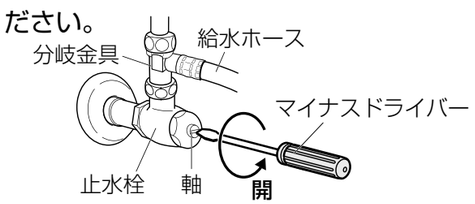
（アース付きコンセントの一例です）



止水栓を開ける

各接続部が確実に接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は十分に開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度にまたは、洗浄中の通水音が気にならない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。



市販のフレキシブルパイプで施工できない場合

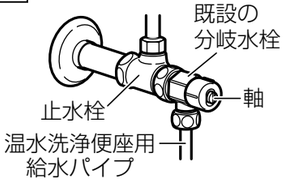
● 専門業者への依頼をお勧めします

別売品(市販品)が必要です。別売品購入後、まずP.7～P.11を行った後、下記要領で取り付けを行ってください。

★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
㊎は、サービスルート扱い(別売品)です。
別売品の品番は変更されることがあります。

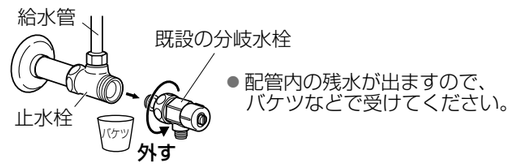
■家の水道の元栓を閉める →【P7】

A 既設の分岐水栓が下図のタイプ



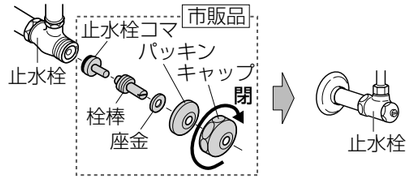
止水栓を元に戻す場合

❶ **既設の分岐水栓を止水栓から外す**

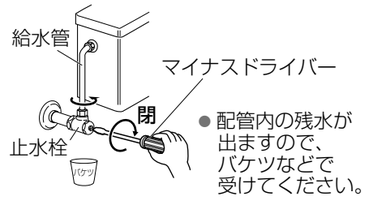


● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ **止水栓を元に戻す**

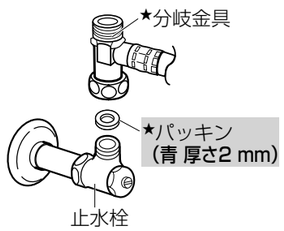


❸ **止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す**



● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❹ **分岐金具を止水栓に取り付ける**
〈分岐金具の締め付け方〉→【P.12】



止水栓を元に戻せない場合

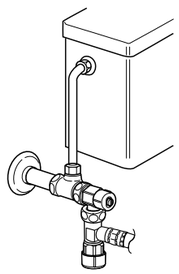
❷ **別売品の分岐水栓を販売店で購入し、接続する**

〈㊎ 別売品〉
別売分岐水栓・キャップセット
(品番：ADL531A-B4JS)



❸ **分岐金具を別売品の分岐水栓に接続する**

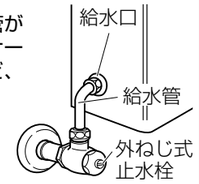
参考図(接続後)



詳しい取り付け方法は、
別売品の説明書を参照してください

B 既設の給水管が下図のタイプ

給水管が外れない、給水管が短い、給水管にストレーナー（フィルター）があるなど、本体同梱の分岐金具とフレキシブルパイプが接続できない場合



止水栓が外ねじ式の場合

❶ **既設の止水栓の下図部品を外す**



止水栓が内ねじ式の場合



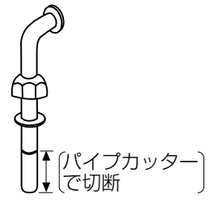
専門業者に依頼してください。

P.13 給水管を取り付ける

P.13 アース線を接続する

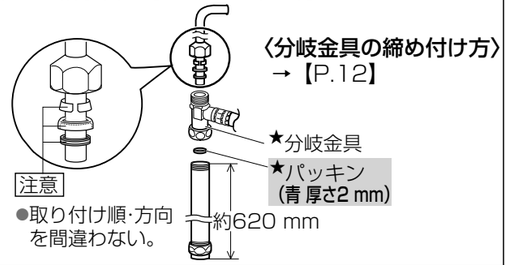
C 止水栓のない(寒冷地用など)給水管から給水する場合

❶ **市販の給水管を手配し、取り付ける**



分岐金具への差込代は
約10 mmを必ず確保する。

❷ **市販の給水管に分岐金具を取り付ける**



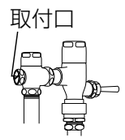
P.13 アース線を接続する

D フラッシュバルブから本体へ給水する場合

フラッシュバルブのメーカーに合わせ、市販のフラッシュバルブ用アダプター(接続金具)を手配し取り付ける。
(下記は代表的な事例です。リモコン式や和風便器など手順が異なる場合もあります。)

TOTO製の場合

❶ **市販のフラッシュバルブ用アダプター(接続金具)を手配し取り付ける**

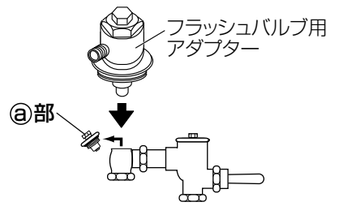


- 右図のような取付口がある場合、アダプター(接続金具)は不要です。
- 取付口がない場合は、アダプター(接続金具)を取り付ける。
- フラッシュバルブの形状などにより使用するアダプター(接続金具)が異なります。

❷ **フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)に分岐金具を取り付ける**

LIXIL(INAX)製の場合

❶ **ⓐ部を外し、フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)を取り付ける**



- フラッシュバルブの形状などにより使用するアダプター(接続金具)が異なります。
- 給水ホース(袋ナット式)用のアダプター(接続金具)を手配ください。

❷ **フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)に分岐金具を取り付ける**

- 別途、下記別売品の購入が必要です。
  〈㊎別売品〉キャップセット
  (品番：DL542A-Z6JS0)

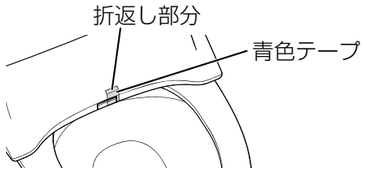
詳しい取り付け方法は、アダプター(接続金具)の説明書を参照してください

P.13 アース線を接続する

試運転

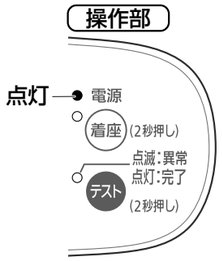
❶ 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する
（十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります）
給水接続部から水漏れがないことを確認する

❷ ノズルシャッターを固定している青色テープをはがす
テープをはがすときは、ノズルシャッターを軽く押さえながら
折返し部分より下に向かってゆっくりはがしてください。
※逆からはがしたり強く引っ張るとシャッターが外れることがあります。

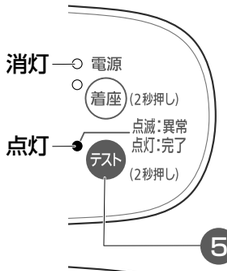


❸ 本体梱包用のポリ袋などをはさむ
（便座と便器の間）

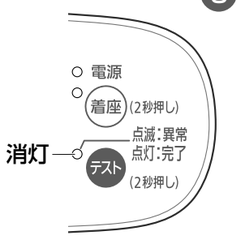
❹ 電源プラグを差し込む
- 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に変わります。



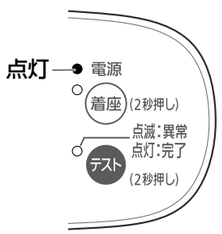
❺ 漏電テストスイッチを2秒以上押す
漏電検知テスト機能が作動し、
電源が切れます。
- 漏電テストランプ(赤)点灯。
- 電源ランプ(緑)消灯。

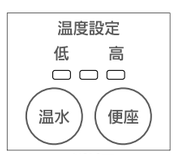


❻ 電源プラグを抜く
- 漏電テストランプが消灯することを確認する。

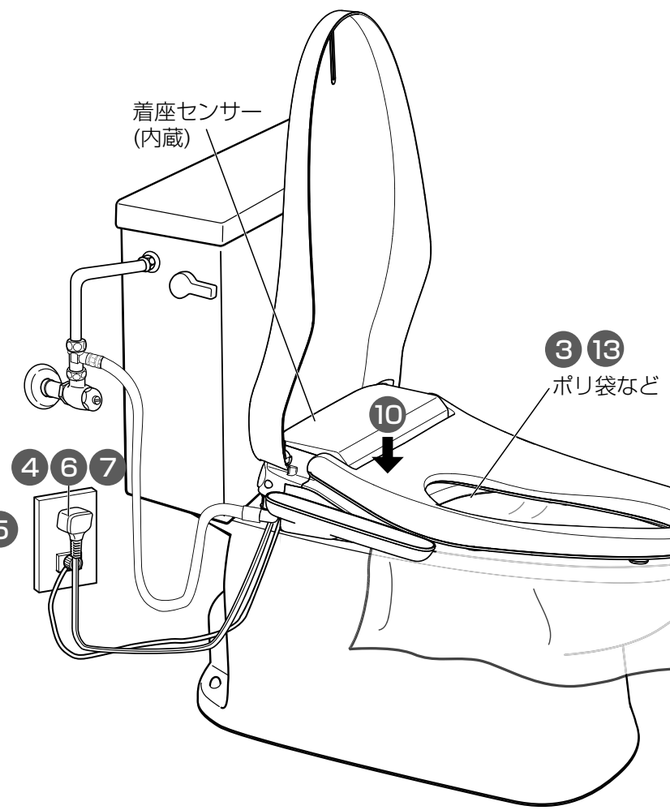


❼ 電源プラグを差す
- 電源ランプが約10秒間点滅後点灯に換わります。
- (温水)を押し、**温水温度設定が消灯**していることを確認する。





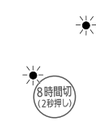
消灯



お知らせ
- 漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。
- **洗浄停止後、約7～8分間はノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水があたたまったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。**

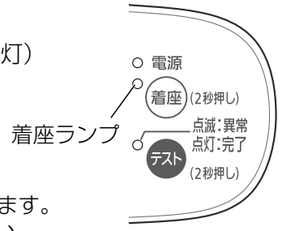
❽ (ノズル掃除)を押す
- 本体の温水タンクに注水を始めます。
ノズルが出て、約1分後お手入れ状態になり、水が下向きに出ます。
水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

温水タンク内の空焚きについて
- 手順 8 の時点で、電源ランプと8時間切ランプが2回点滅を繰り返している場合は、温水タンク内の空焚き表示です。**故障ではありません。**
〈以下の処置をする〉
- 水道の元栓、止水栓を開き、手順 8 から試運転を行う。
（温水温度設定は自動で切になります）



❾ (停止)を押す
- ノズルが元に戻ります。

❿ 便座の左後部を押しながら（着座ランプ点灯）
(おしり)または(ビデ)を押す
- 着座検知し、脱臭が始まります。
（CH962Sのみ）
- ノズルを洗浄し、約5～8秒後に洗浄水が出ます。
（着座検知していないと、洗浄水が出ません）



⓫ (停止)を押す
- ノズルを洗浄する水が出ます。

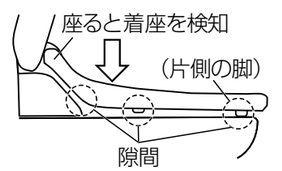
⓬ (便座)と(温水)のスイッチで温度設定し、通電約5～12分後に便座と洗浄水のあたたかさを確認する
- ポリ袋の上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

⓭ ポリ袋を外す

ノズル周辺部から出る水について
- ノズル周辺部から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。

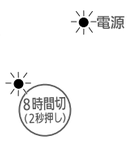
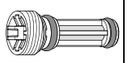
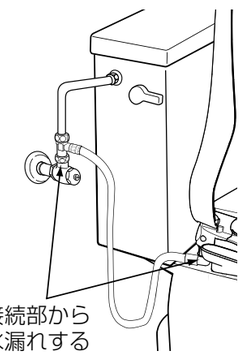
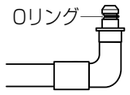
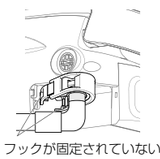
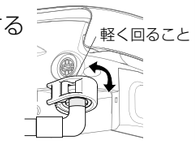
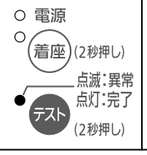
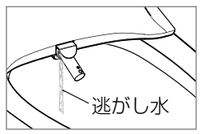


着座検知について
- 便座の後ろ脚と前の片側の脚および便座と本体ケースの間に隙間がある状態が正常です。
この隙間がないと座ったときに着座検知しません。【P.10】
- 便座に座ると軸部分が動いて着座検知します。



こんなときは

ホームページで
ご確認いただけます。

現　象	原　因	処　置	参照ページ
着座検知しない	便座の脚ゴムが便器面に載っていない	本体を正しく取り付ける	10
電源ランプと8時間切ランプが2回点滅を繰り返す 	● 水道の元栓、止水栓が十分に開いていない ● 温水タンクに注水する前に温水の温度設定を行った	水道の元栓、止水栓が十分に開いていることを確認し、再度試運転を行う	13 16
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルター（水抜き栓）がつまっている 	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が十分に開いていない	水道の元栓を十分に開く	7
	止水栓が開になっていない	止水栓を十分に開く	13
	ロータンクに給水中	水が貯まるのを待つ	−
ロータンクに水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	13
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	13
 接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 	Oリングのゴミを取り除く	9
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	−
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	12
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ 	確実に固定する 	9
電源が入らない	漏電テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（漏電テストランプが点灯） 	電源プラグを抜き漏電テストランプが消灯後、電源プラグを差し込む 	16
ノズル周辺部から水が出ている 	洗浄中、ノズル周辺部から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。		17

施工後の注意　凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防のしかた・長期間使用しないときは」参照）

メモ欄